

令和6年度
第3回葛飾区区民モニターアンケート
調査報告書

— 「葛飾区の防犯意識について」 —

令和6年10月



目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査のテーマ	1
3.	調査の設計	1
4.	調査機関	1
5.	報告書の表記について	1
II	回答者の属性	2
III	調査結果を踏まえた区の安全・安心なまちづくりへの取組について	6
IV	調査結果の詳細	7
1.	葛飾区の防犯意識について	7
	【防犯全般】	7
(1)	防犯上の不安の有無	7
(2)	どのような犯罪に対して、不安を感じるか	9
(3)	犯罪や地域の安全に関する情報の収集元	11
(4)	防犯への意識の高さについて	13
(5)	地域団体が実施する防犯活動の参加の有無	15
(6)	どのような活動に参加したか	17
(7)	防犯対策として効果があると思われるもの	19
(8)	自治町会が設置している街頭防犯カメラの認知度	21
(9)	街頭防犯カメラは効果があると思うか	23
	【自宅の防犯対策について】	25
(10)	自宅の中で、防犯上不安に感じている場所はあるか	25
(11)	どのような防犯対策を取ることが必要か	27
(12)	葛飾区住まいの防犯対策助成を知っているか	29
	【特殊詐欺】	32
(13)	詐欺を疑うような電話がかかってきたことがあるか	32
(14)	詐欺の手口の中で、知っているものについて	34
(15)	「自動通話録音機」の認知度について	36
	【自転車盗難】	38
(16)	自転車の鍵かけが区の条例で義務化されていることを知っているか	38

(17) 自転車盗難の約5割は自宅で起こっていることを知っているか	40
(18) 自宅や買い物時など少しの時間でも必ず鍵をかけているか	42
(19) 自転車に2つ以上鍵をかけているか	44
【不審者の声かけ】	46
(20) 身の回りで不審者から声をかけられた人を知っているか	46
(21) 不審者の声かけなど防犯に関する情報を発信していることを知っているか	48
《調査全般について》	50

I 調査概要

1. 調査の目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、無作為に選定した方から公募により決定した「区民モニター」から、適時かつ具体的なご意見を収集することにより、区政への活用を図るもの。

2. 調査のテーマ

- (1) 葛飾区の防犯意識について

3. 調査の設計

- (1) 調査対象 無作為に選定した18歳以上の区民4,000人から公募により決定した区民モニター500名
- (2) 調査方法 インターネットでの回答
- (3) 調査期間 令和6年9月9日(月)～9月30日(月)
- (4) 有効回収数 419名

4. 調査機関

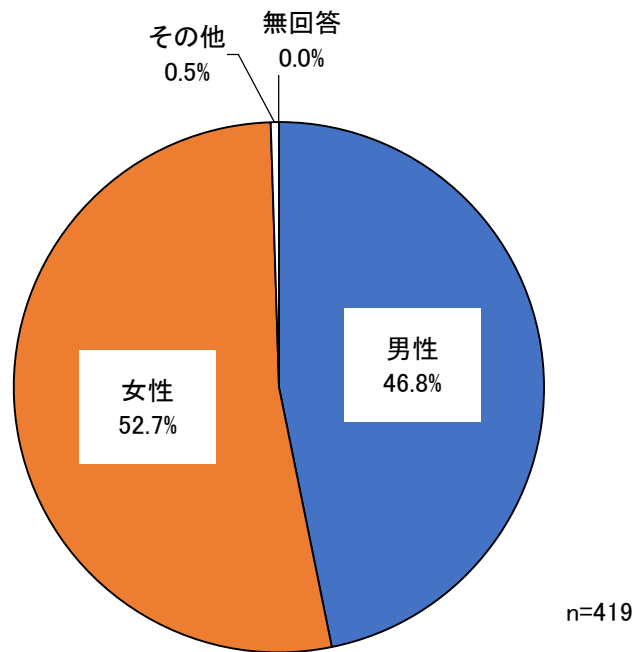
株式会社都市計画21

5. 報告書の表記について

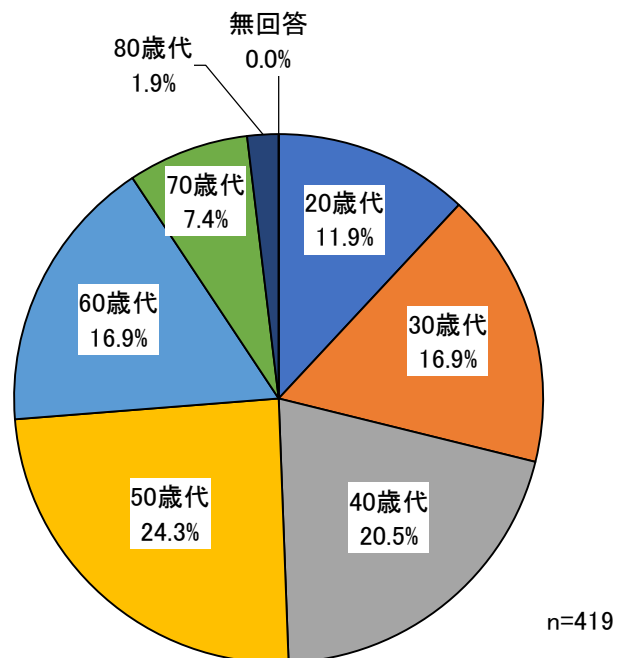
- (1) 比率は全て百分率で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、四捨五入によって生じる誤差により、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) “n”は各設問の回答数を示している。比率はnを母数として、算出している。
- (3) 複数回答の設問では、1人が複数の回答を選択可能なため、各選択肢における回答数の合計が100%を超過している。
- (4) 年齢層・年代別の20歳代には、18歳・19歳を含んでいる。
- (5) 年齢層・年代別の80歳代には、90歳以上を含んでいる。

II 回答者の属性

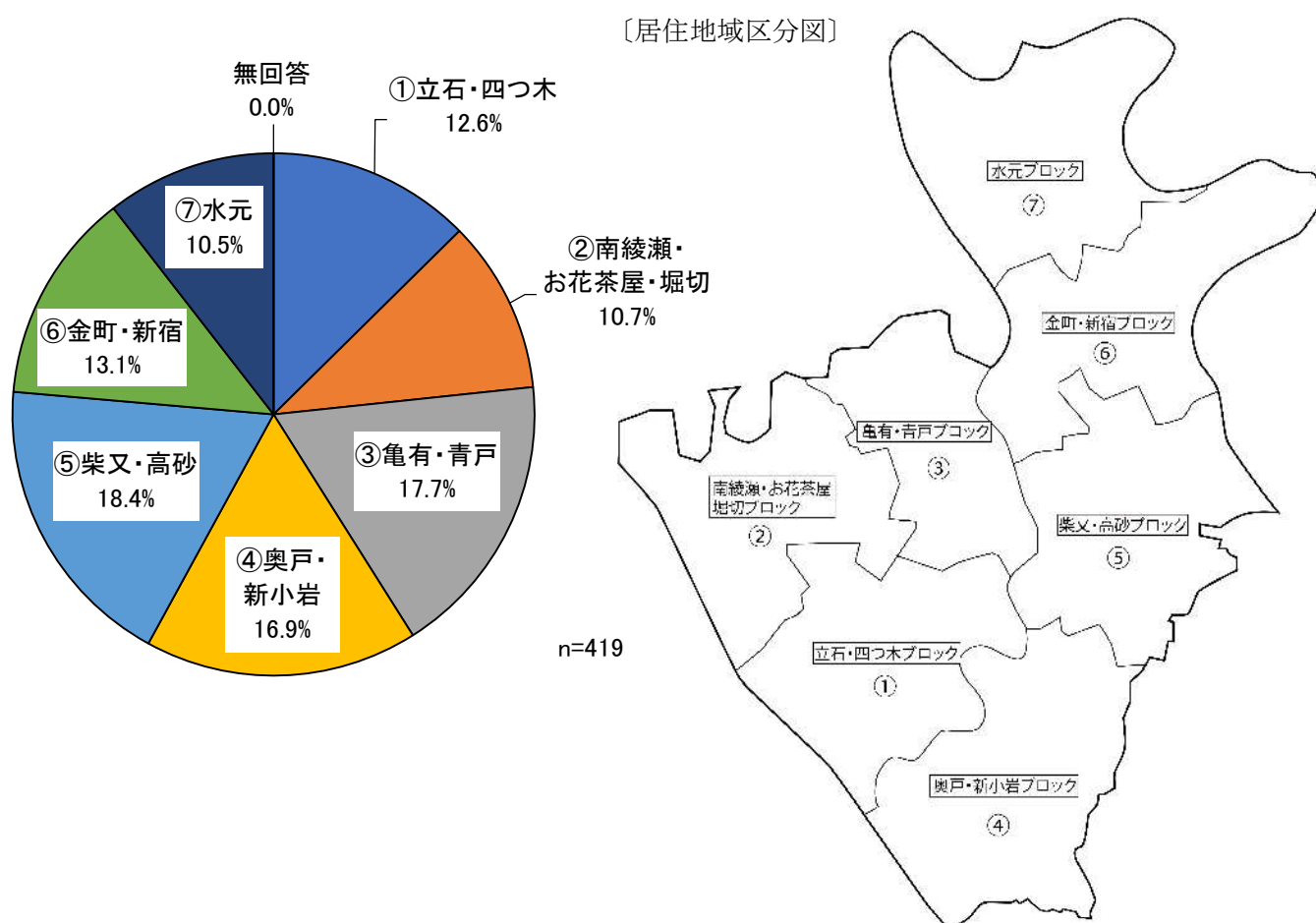
(1) 性別



(2) 年齢層



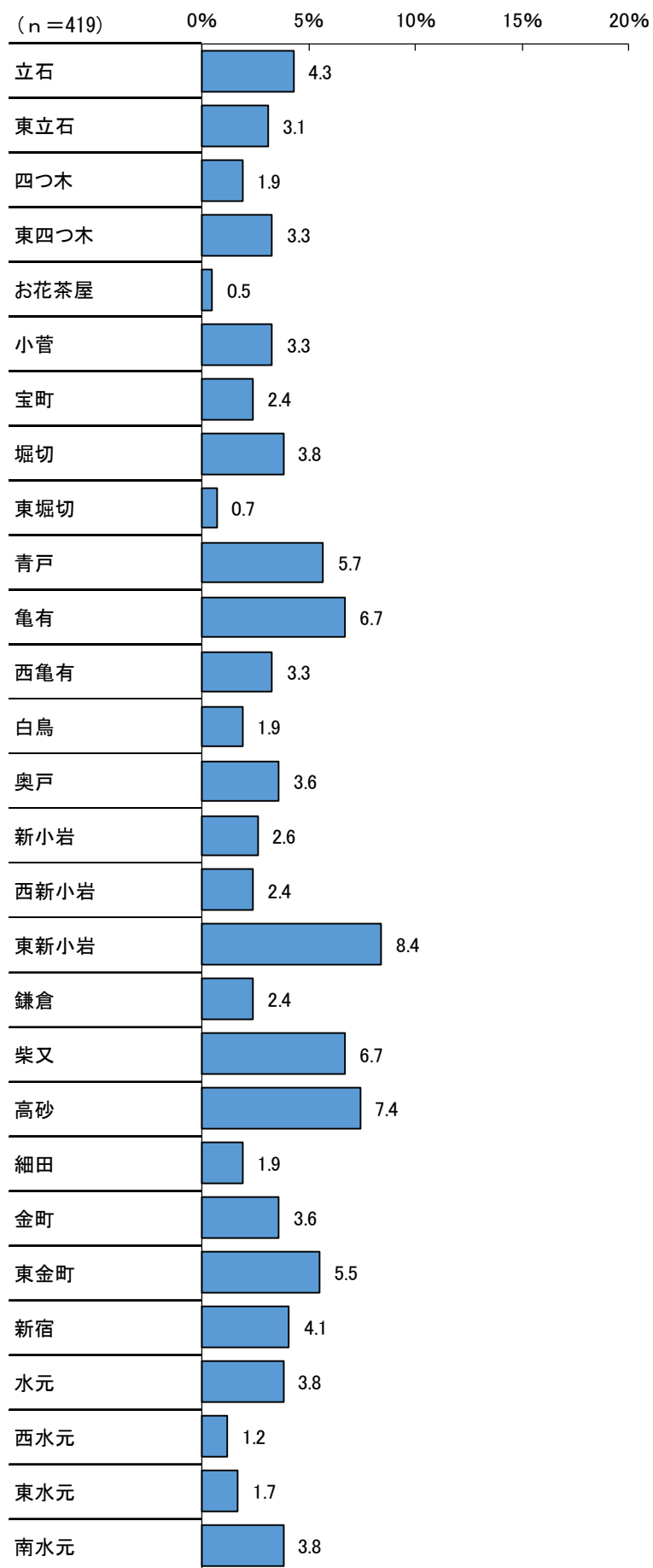
(3) 居住地域 (7区分)



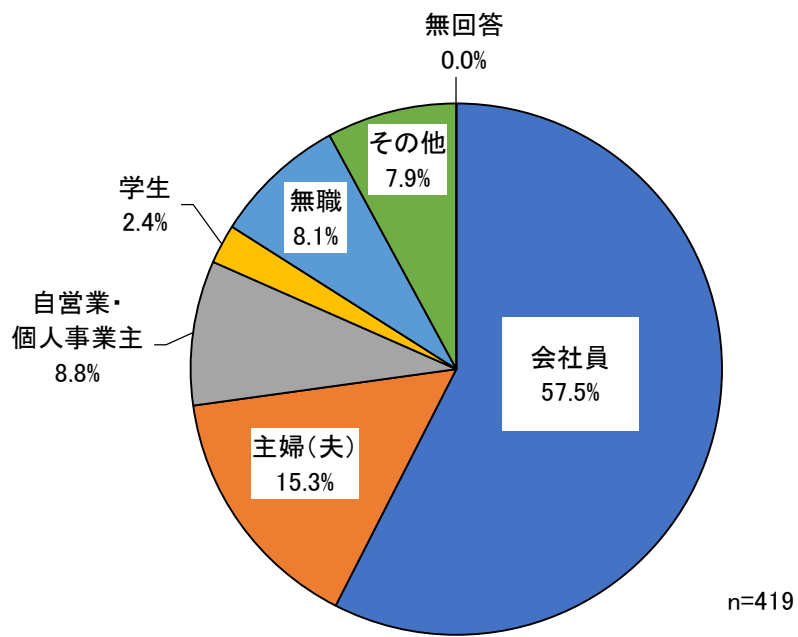
〔居住地域区分表〕

	ブロック名	町名
1	立石・四つ木ブロック	立石・東立石・四つ木・東四つ木
2	南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック	お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切
3	亀有・青戸ブロック	青戸・亀有・西亀有・白鳥
4	奥戸・新小岩ブロック	奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩
5	柴又・高砂ブロック	鎌倉・柴又・高砂・細田
6	金町・新宿ブロック	金町・東金町・新宿
7	水元ブロック	水元・西水元・東水元・南水元

(4) 居住地域 (28区分)



(5) 職業

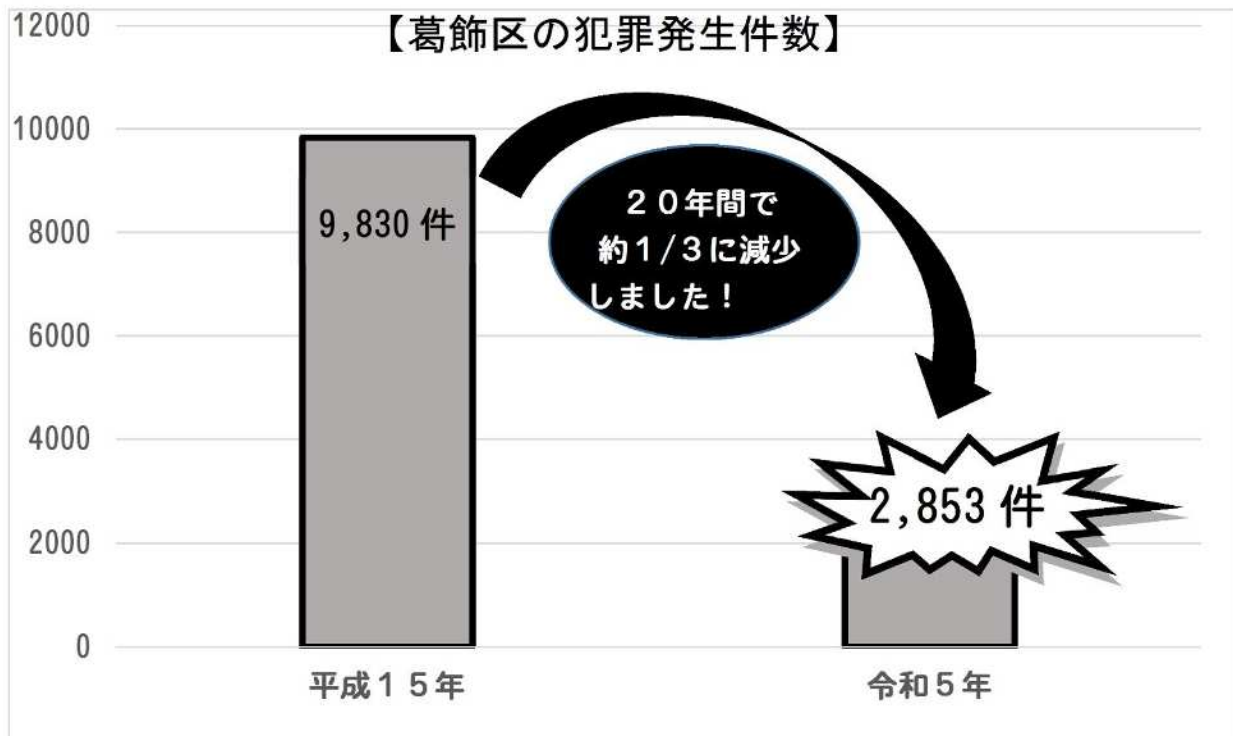


(6) 居住地域別 (7区分) × 性別・年代別

(%)

		立石・四つ木	南綾瀬・お花茶屋・堀切	亀有・青戸	奥戸・新小岩	柴又・高砂	金町・新宿	水元	無回答
n									
全	体 (419)	12.6	10.7	17.7	16.9	18.4	13.1	10.5	
	【性別】								
男	性 (196)	15.8	8.2	14.3	17.9	20.4	15.8	7.7	
	女	10.0	12.7	20.4	16.3	16.7	10.9	13.1	
【年代別】	その他 (2)	50.0			50.0				
【年代別】	20 歳代 (50)	20.0	10.0	16.0	10.0	22.0	10.0	12.0	
	30 歳代 (71)	7.0	14.1	18.3	14.1	21.1	14.1	11.3	
	40 歳代 (86)	14.0	10.5	22.1	20.9	12.8	14.0	5.8	
	50 歳代 (102)	10.8	8.8	14.7	22.5	17.6	13.7	11.8	
	60 歳代 (71)	12.7	12.7	15.5	15.5	18.3	9.9	15.5	
	70 歳代 (31)	16.1	6.5	22.6	3.2	25.8	22.6	3.2	
	80 歳代 (8)	12.5	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5	

Ⅲ 調査結果を踏まえた区の安全・安心なまちづくりへの取組について



葛飾区は、地域の皆様や警察などの関係機関と協働で安全・安心なまちづくりに取り組んでまいりました。この結果、本区の犯罪発生件数はピーク時の平成15年の9,830件から、令和5年までに約1/3の2,853件と大幅に減少しています。また、犯罪発生件数の約4割は自転車盗難で、凶悪な犯罪は減少しており、安心・安全なまちづくりが着実に進んでいます。

これは、自治町会や商店会を中心とした地域団体による街頭防犯カメラの設置や地域安全パトロールなどの地域の見守り活動、警察などと連携した犯罪被害に遭わないための啓発活動が大きな役割を果たしています。

また、区は、令和6年度から、個人住宅の防犯力の向上のため、「葛飾区住まいの防犯対策助成」を新設し、自宅に防犯カメラや録画機能付きドアホンなどの防犯設備を設置した費用の半額を助成しています。

しかし、コロナ後、社会経済活動が平常時に戻ったことに伴う犯罪発生件数の全国的な増加、新たな特殊詐欺の手口の発生、首都圏での闇バイトによる強盗事件の発生など、状況は常に変化しております。区は、最新の社会情勢、今回の調査結果を踏まえながら、地域の皆様や関係団体と共に、安心・安全なまちづくりのための取組を引き続き行ってまいります。

IV 調査結果の詳細

1. 葛飾区の防犯意識について

【防犯全般】

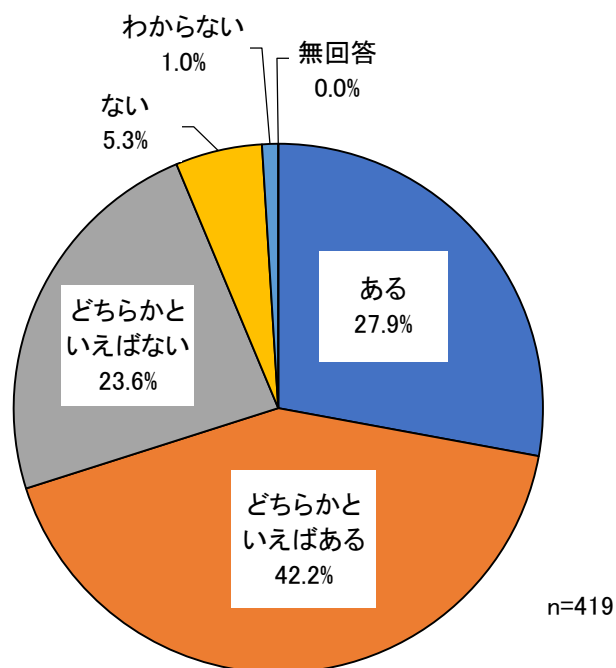
(1) 防犯上の不安の有無

問1 日常生活において、防犯上の不安はありますか。(1つ選択)

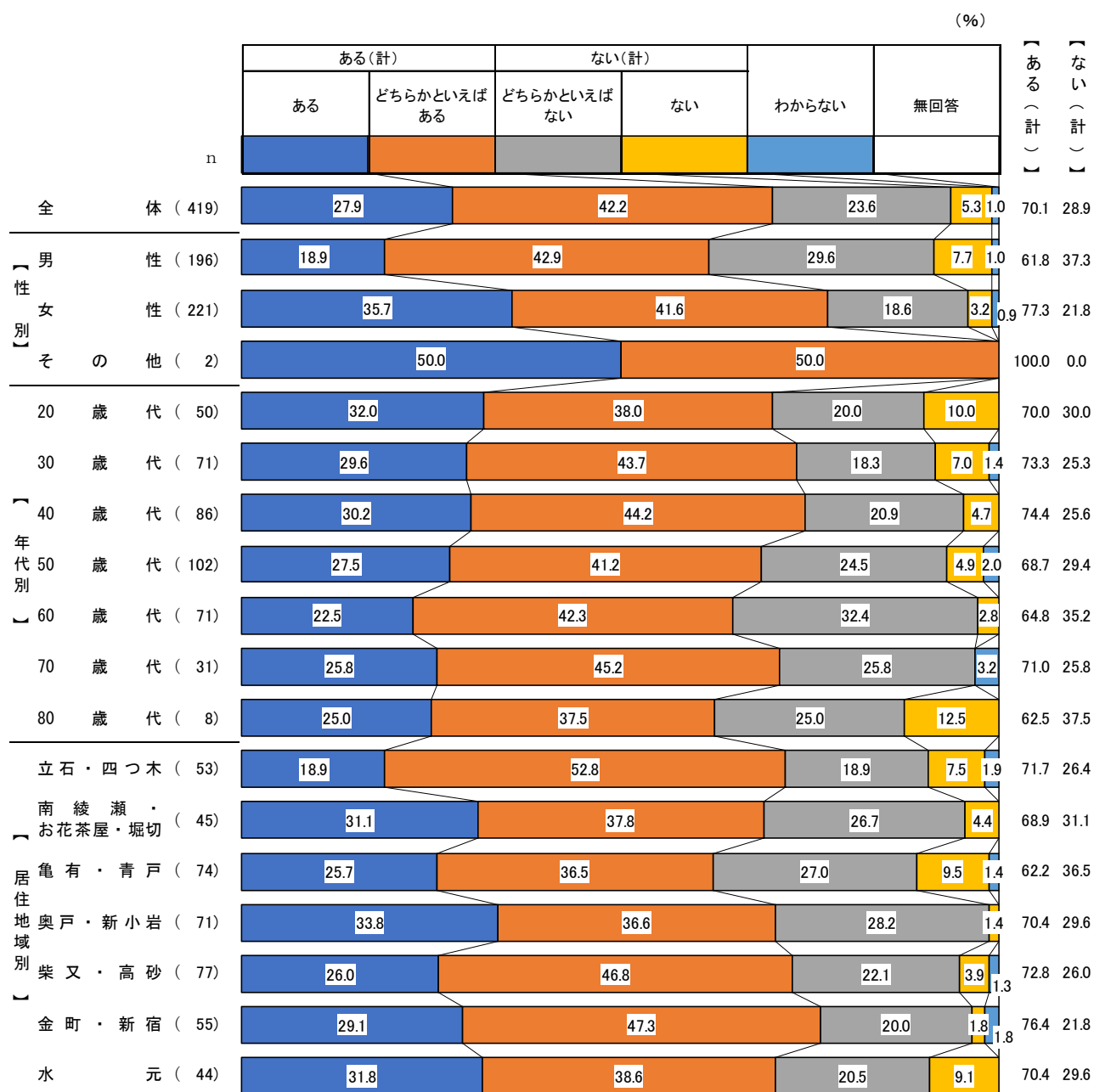
日常生活において、防犯上の不安の有無については、「ある」と「どちらかといえばある」を合わせた【ある(計)】は、70.1%となっている。一方、「どちらかといえばない」と「ない」を合わせた【ない(計)】は、28.9%となっている。

年代別でみると、【ある(計)】は、全ての年代で6割以上となっており、一方、【ない(計)】は、全ての年代で4割未満となっている。

図表-1 防犯上の不安の有無(全体)



図表－2 防犯上の不安の有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(2) どのような犯罪に対して、不安を感じるか

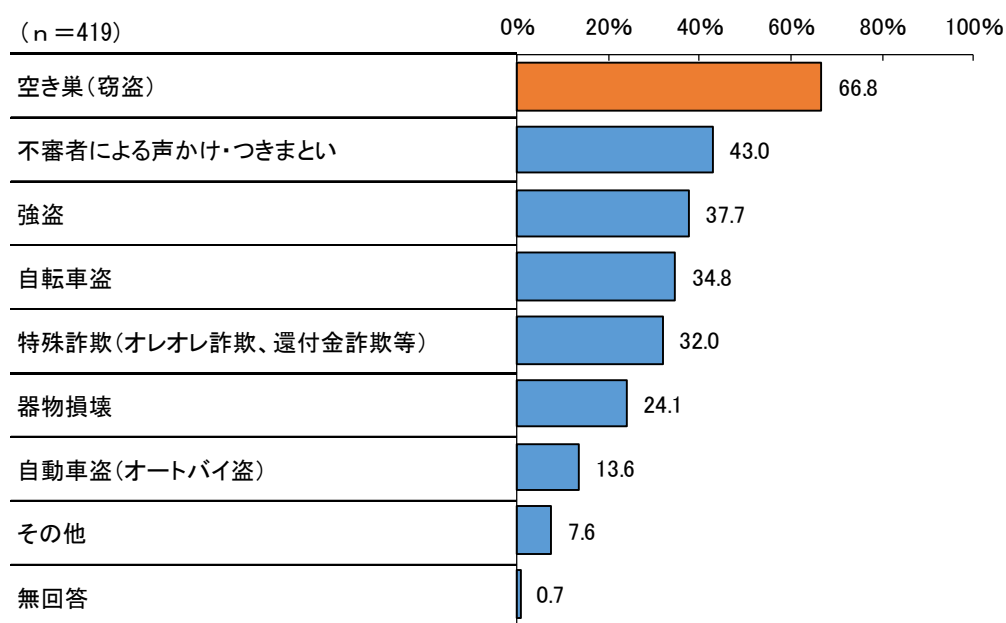
問2 どのような犯罪に対して、不安を感じますか。(あてはまるものを全て選択)

どのような犯罪に対して、不安を感じるかについては、「空き巣(窃盗)」が66.8%で最も高く、次いで「不審者による声かけ・つきまとい」が43.0%となっている。

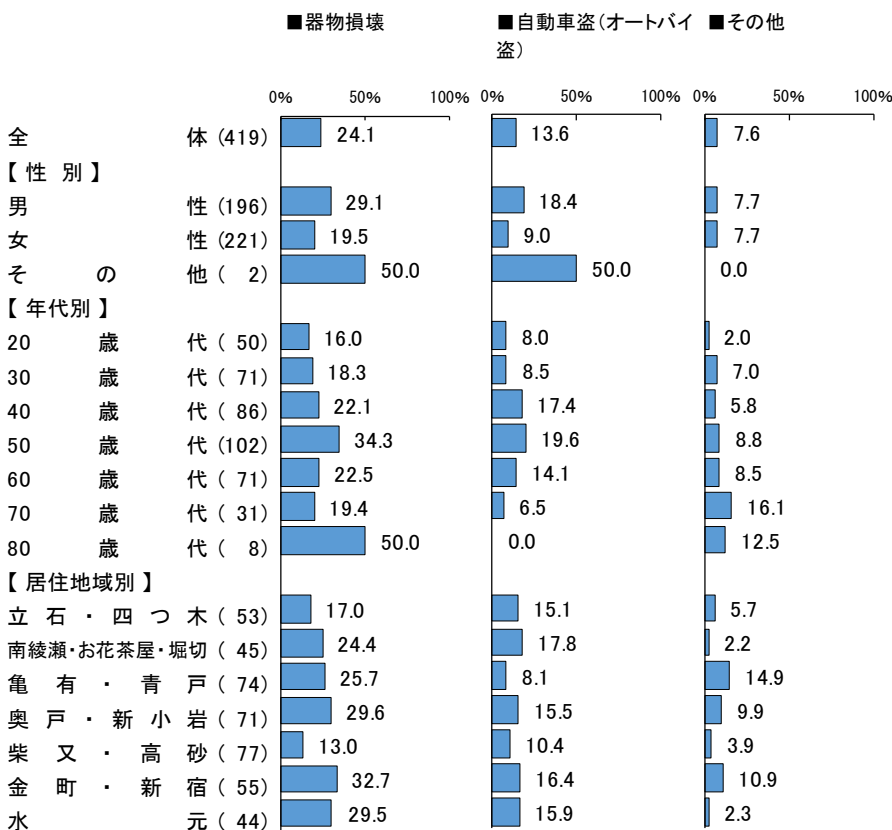
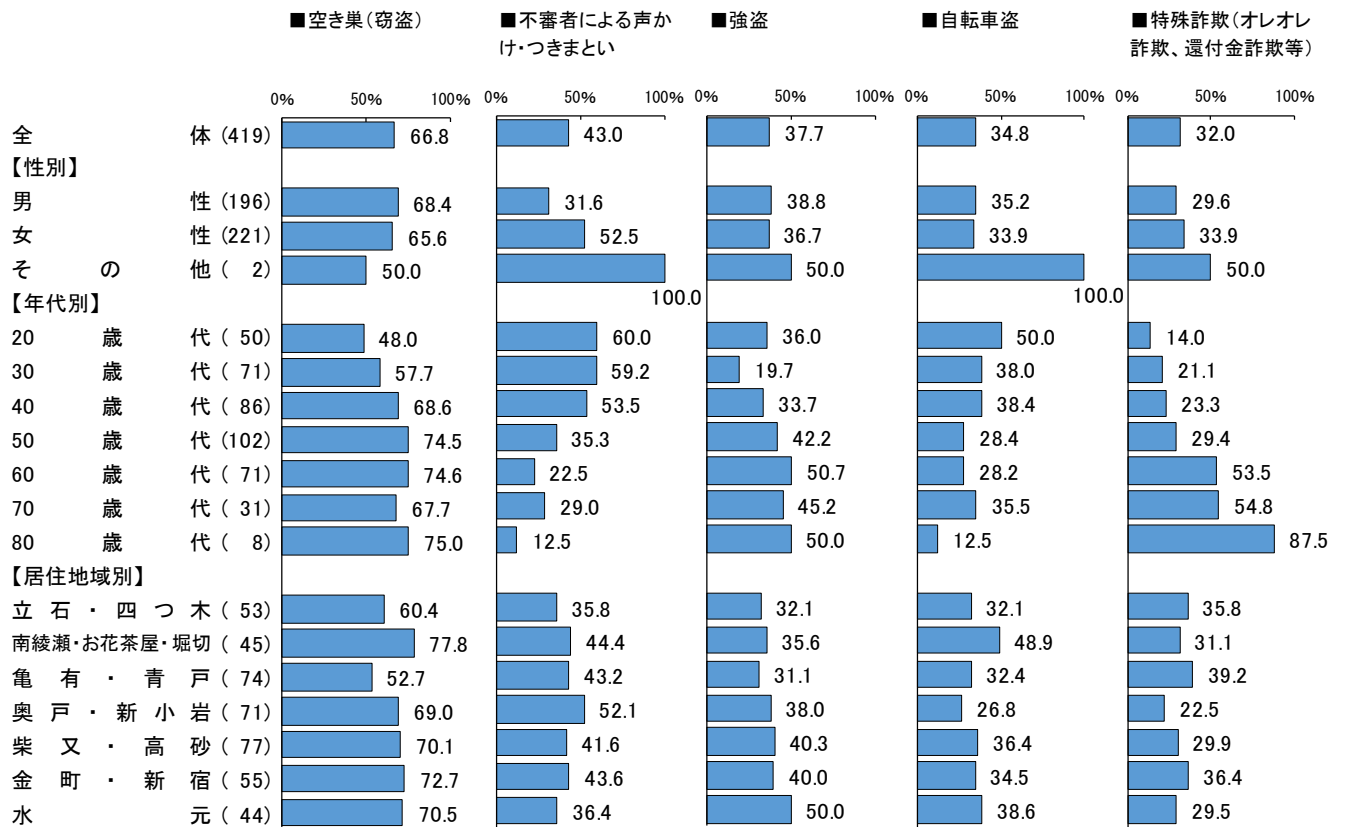
年代別にみると、「空き巣(窃盗)」は、50歳代と60歳代、80歳代で7割以上と高くなっている。また、「特殊詐欺(オレオレ詐欺、還付金詐欺等)」は、80歳代で8割以上と高くなっている。

「その他」の内容としては、「訪問販売など様々な詐欺行為」、「暴力行為や傷害事件、殺人事件」、「放火」、「不法侵入」などがある。

図表-3 どのような犯罪に対して、不安を感じるか(全体)



図表－４ どのような犯罪に対して、不安を感じるか
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



(3) 犯罪や地域の安全に関する情報の収集元

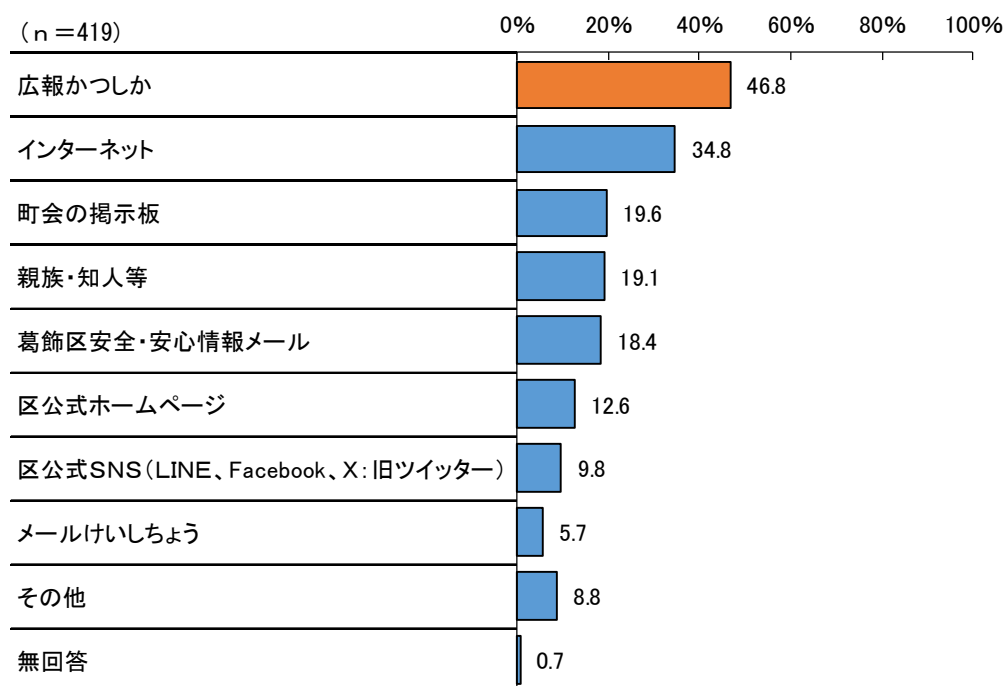
問3 犯罪や地域の安全に関する情報をどこから収集していますか。(あてはまるものを全て選択)

犯罪や地域の安全に関する情報の収集元については、「広報かつしか」が46.8%で最も高く、次いで「インターネット」が34.8%となっている。

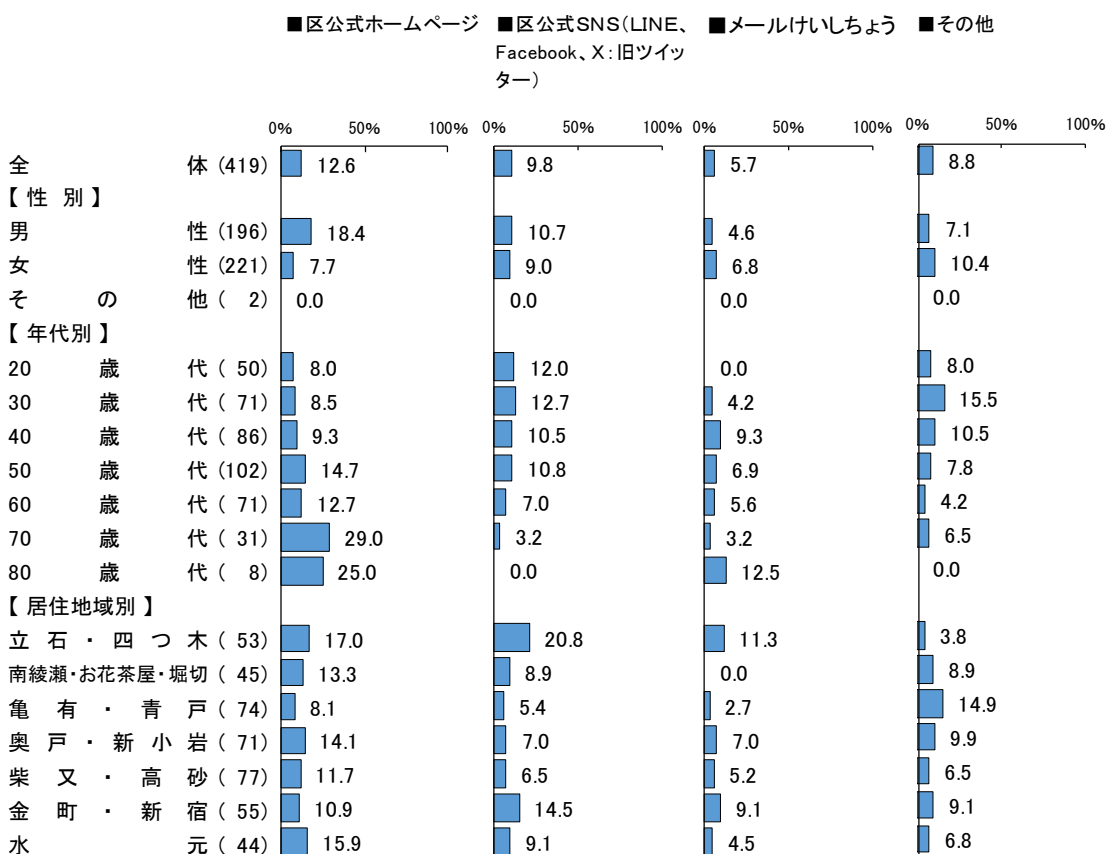
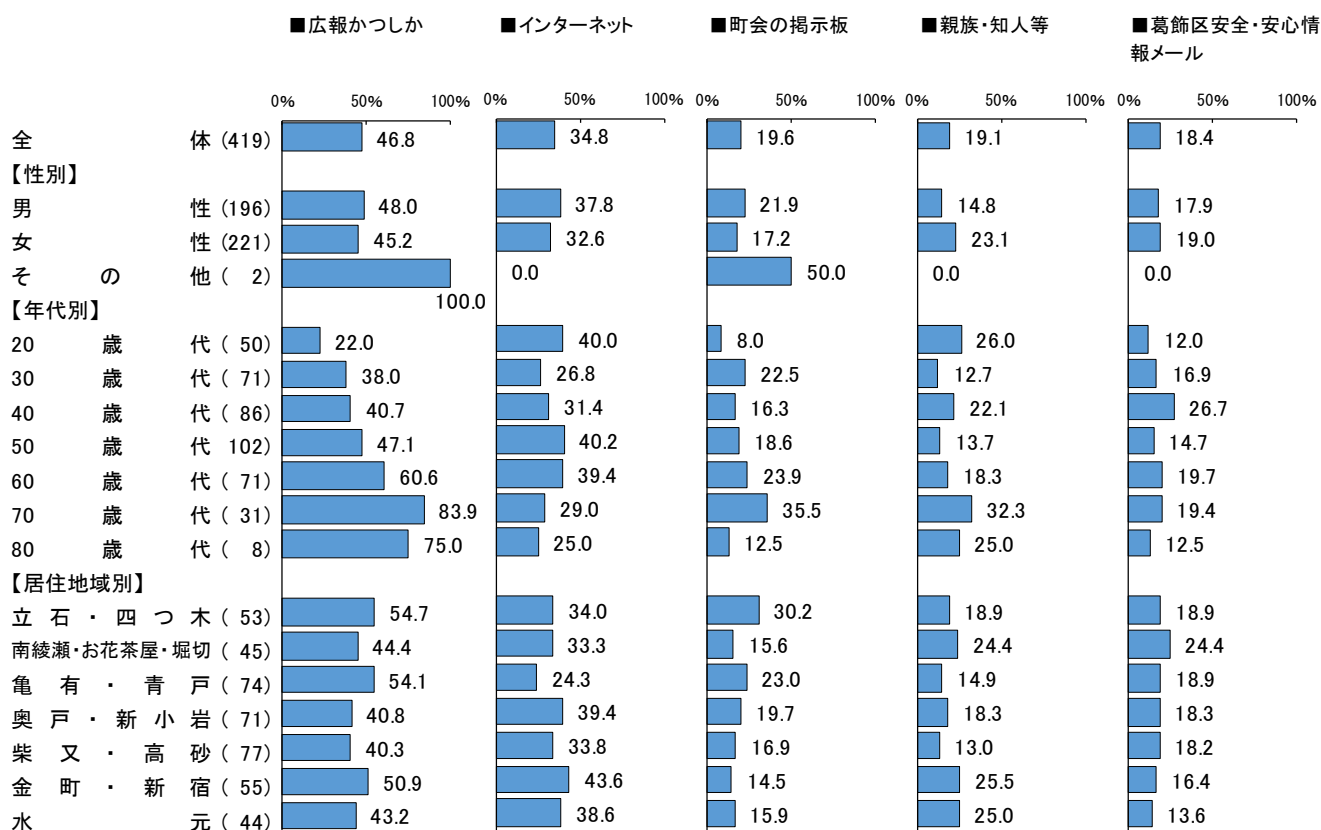
年代別にみると、「広報かつしか」は、70歳代以上が7割以上と高くなっている一方で、20歳代が22.0%と低くなっている。

「その他」の内容としては、「学校のSNSやアプリ、メール等の連絡」、「テレビのニュースや情報番組」、「収集していない」などがある。

図表－5 犯罪や地域の安全に関する情報の収集元（全体）



図表－6 犯罪や地域の安全に関する情報の収集元
(全体・性別・年代別・居住地域別)



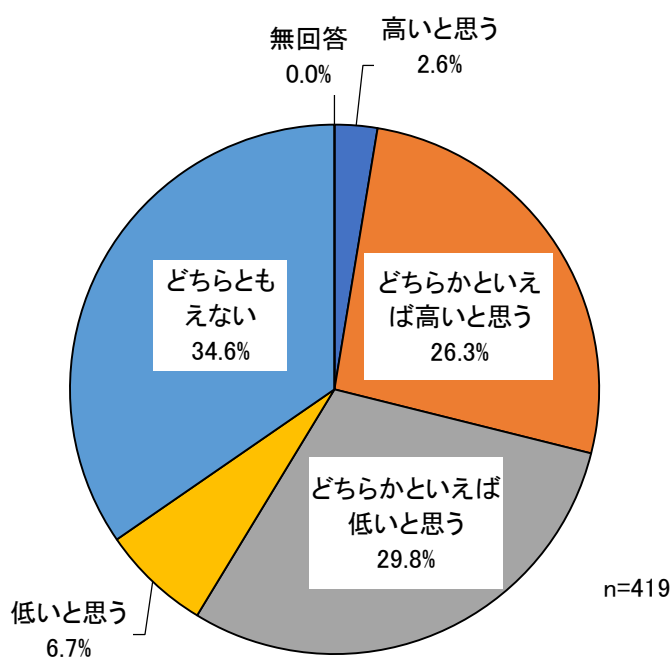
(4) 防犯への意識の高さについて

問4 自分の住む地域の防犯への意識の高さについてどう思われますか。(1つ選択)

防犯への意識の高さについては、「高いと思う」と「どちらかといえば高いと思う」を合わせた【高い(計)】が、28.9%となっている。一方、「どちらかといえば低いと思う」と「低いと思う」を合わせた【低い(計)】が、36.5%となっている。

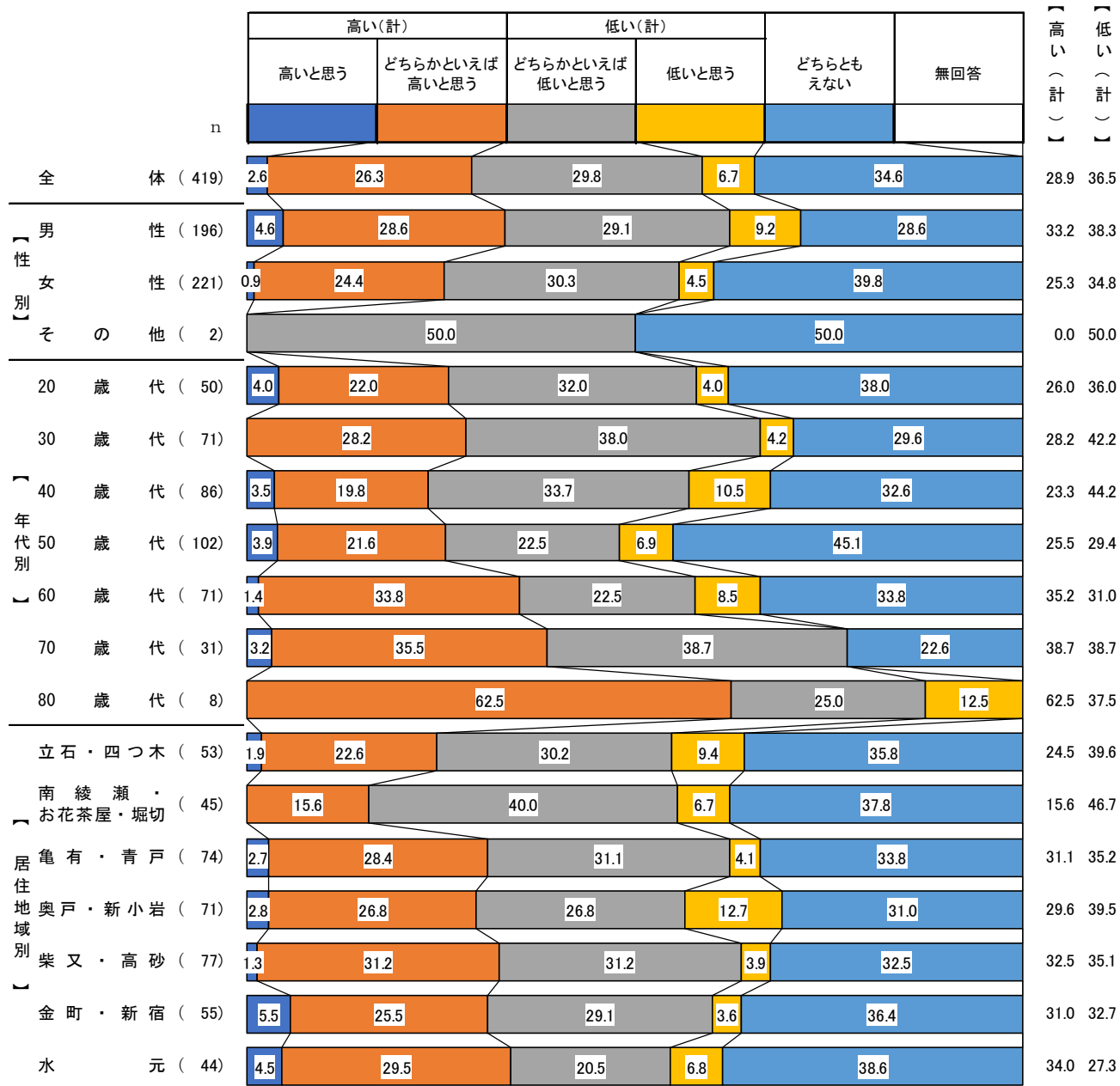
年代別でみると、【高い(計)】は、80歳代で6割以上と高くなっており、一方、【低い(計)】は、30歳代と40歳代が4割以上と高くなっている。

図表-7 防犯への意識の高さ(全体)



図表－８ 防犯への意識の高さ
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



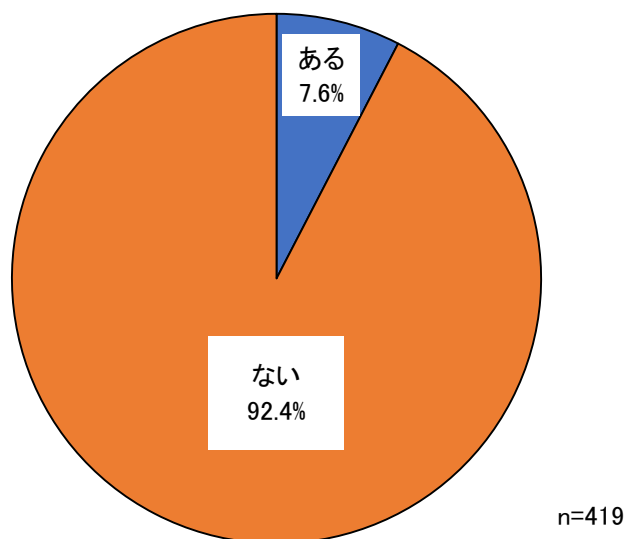
(5) 地域団体が実施する防犯活動の参加の有無

問5 地域団体が実施する防犯活動に参加したことがありますか。(1つ選択)

地域団体が実施する防犯活動の参加の有無については、「ある」が7.6%、「ない」が92.4%となっている。

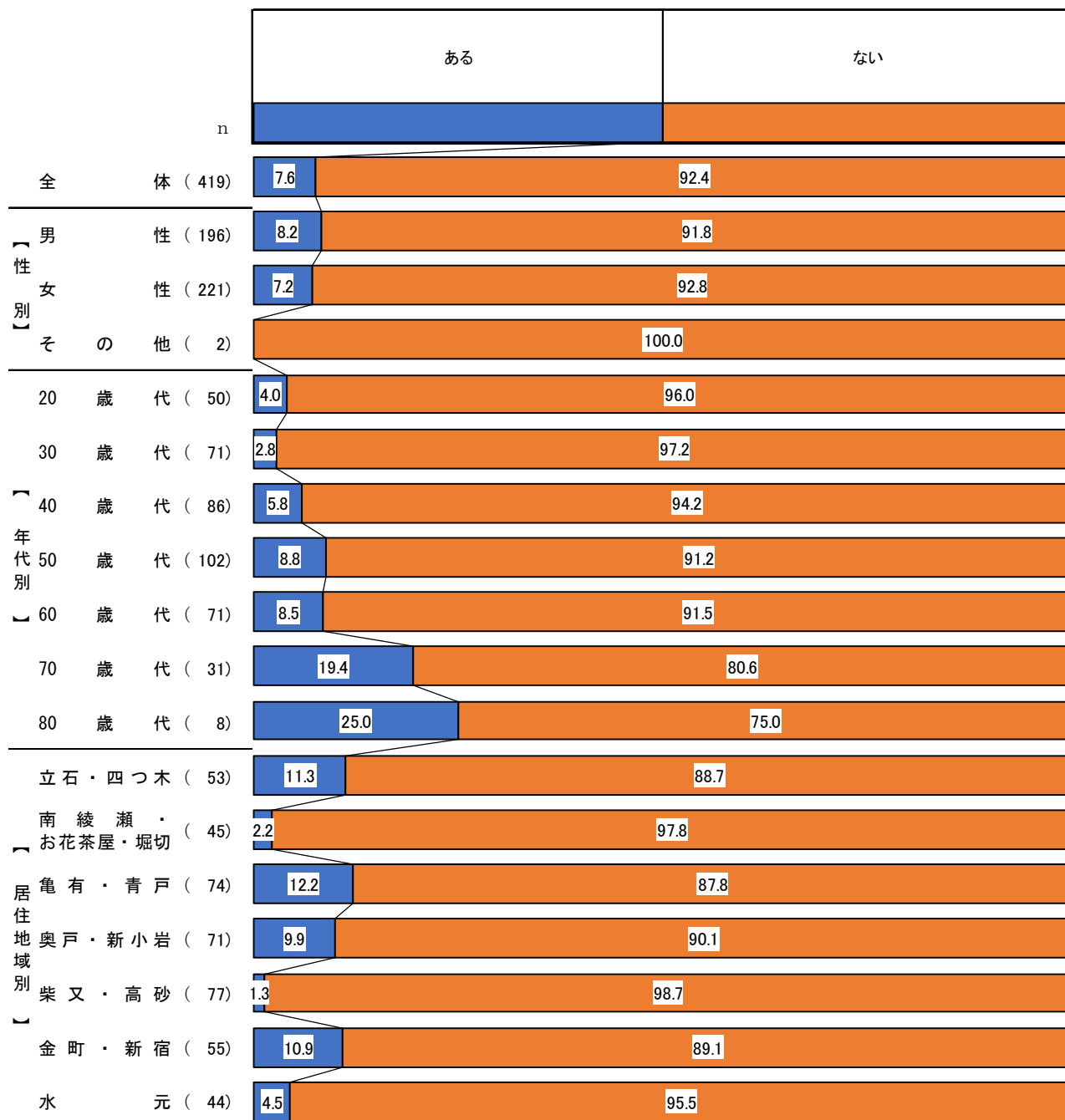
年代別にみると、「ある」は、60歳代以下で1割未満となっている。一方、「ない」は、全ての年代で7割以上となっている。

図表－9 地域団体が実施する防犯活動の参加の有無（全体）



図表-10 地域団体が実施する防犯活動の参加の有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(6) どのような活動に参加したか

問6 問5で選択肢1「ある」と答えた方に伺います。

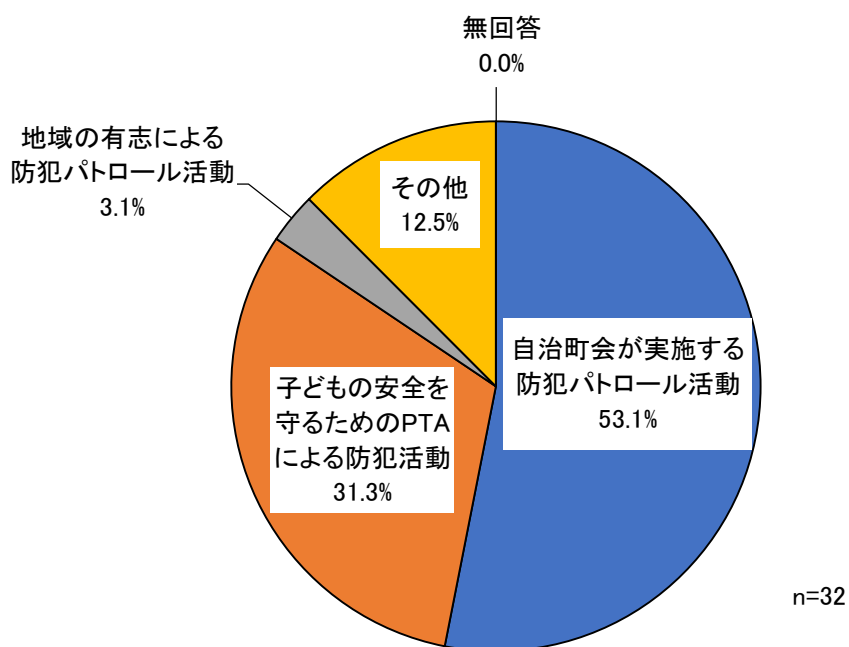
どのような活動に参加しましたか。(1つ選択)

どのような活動に参加したかについては、「自治町会が実施する防犯パトロール活動」が53.1%で最も高く、次いで「子どもの安全を守るためのPTAによる防犯活動」が31.3%、「地域の有志による防犯パトロール活動」が3.1%となっている。

年代別にみると、「自治町会が実施する防犯パトロール活動」は、50歳代で2割台となっている。また、「子どもの安全を守るためのPTAによる防犯活動」は、30歳代から50歳代で5割以上と高くなっている。

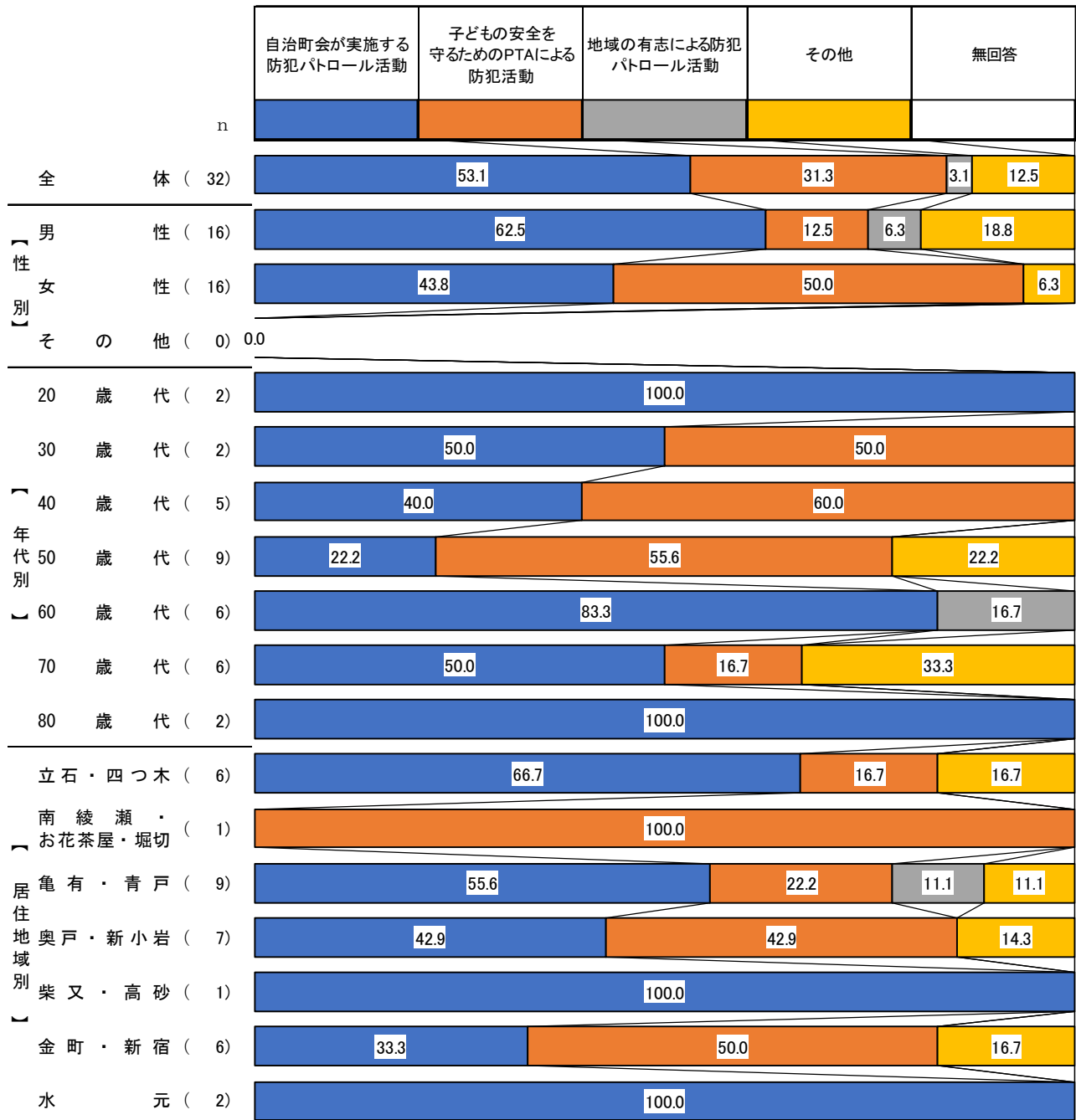
「その他」の内容としては、「全て」、「消防団」、「地域での見回り活動」がある。

図表-11 どのような活動に参加したか（全体）



図表-12 どのような活動に参加したか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(7) 防犯対策として効果があると思われるもの

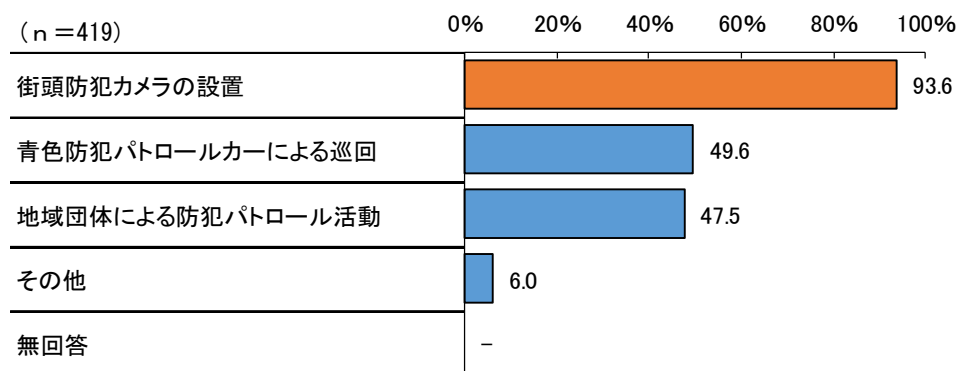
問7 防犯対策として効果があると思われるものを選んでください。(あてはまるものを全て選択)

防犯対策として効果があると思われるものについては、「街頭防犯カメラの設置」が93.6%で最も高く、次いで「青色防犯パトロールカーによる巡回」が49.6%、「地域団体による防犯パトロール活動」が47.5%となっている。

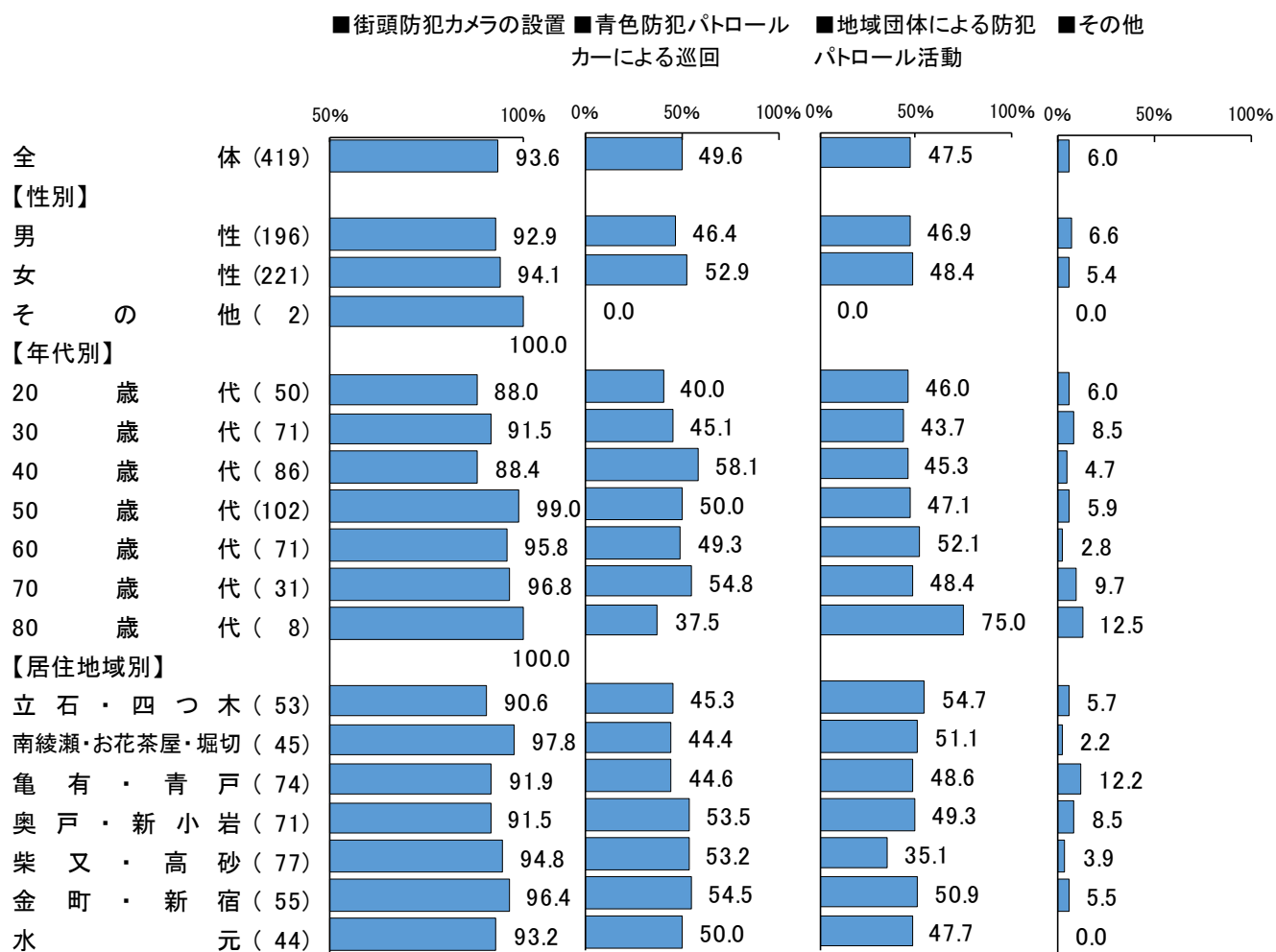
年代別でみると、「街頭防犯カメラの設置」は、全ての年代で8割以上となっている。また、「青色防犯パトロールカーによる巡回」は、40歳代で6割近くと高くなっている。

「その他」の内容としては、「警察のパトロール」、「街灯の設置」、「地域住民の声かけ、挨拶等の交流」などがある。

図表-13 防犯対策として効果があると思われるもの（全体）



図表-14 防犯対策として効果があると思われるもの
(全体・性別・年代別・居住地域別)



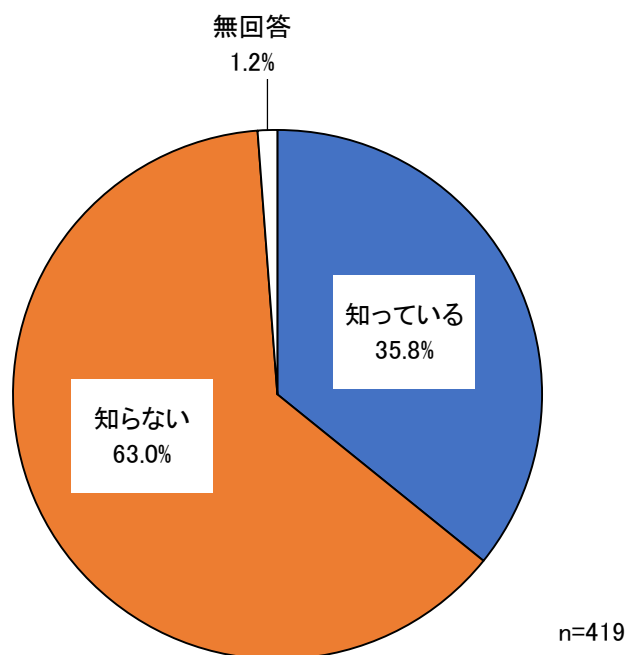
(8) 自治町会が設置している街頭防犯カメラの認知度

問8 自治町会が設置している街頭防犯カメラは知っていますか。(1つ選択)

自治町会が設置している街頭防犯カメラの認知度については、「知っている」が35.8%、「知らない」が63.0%となっている。

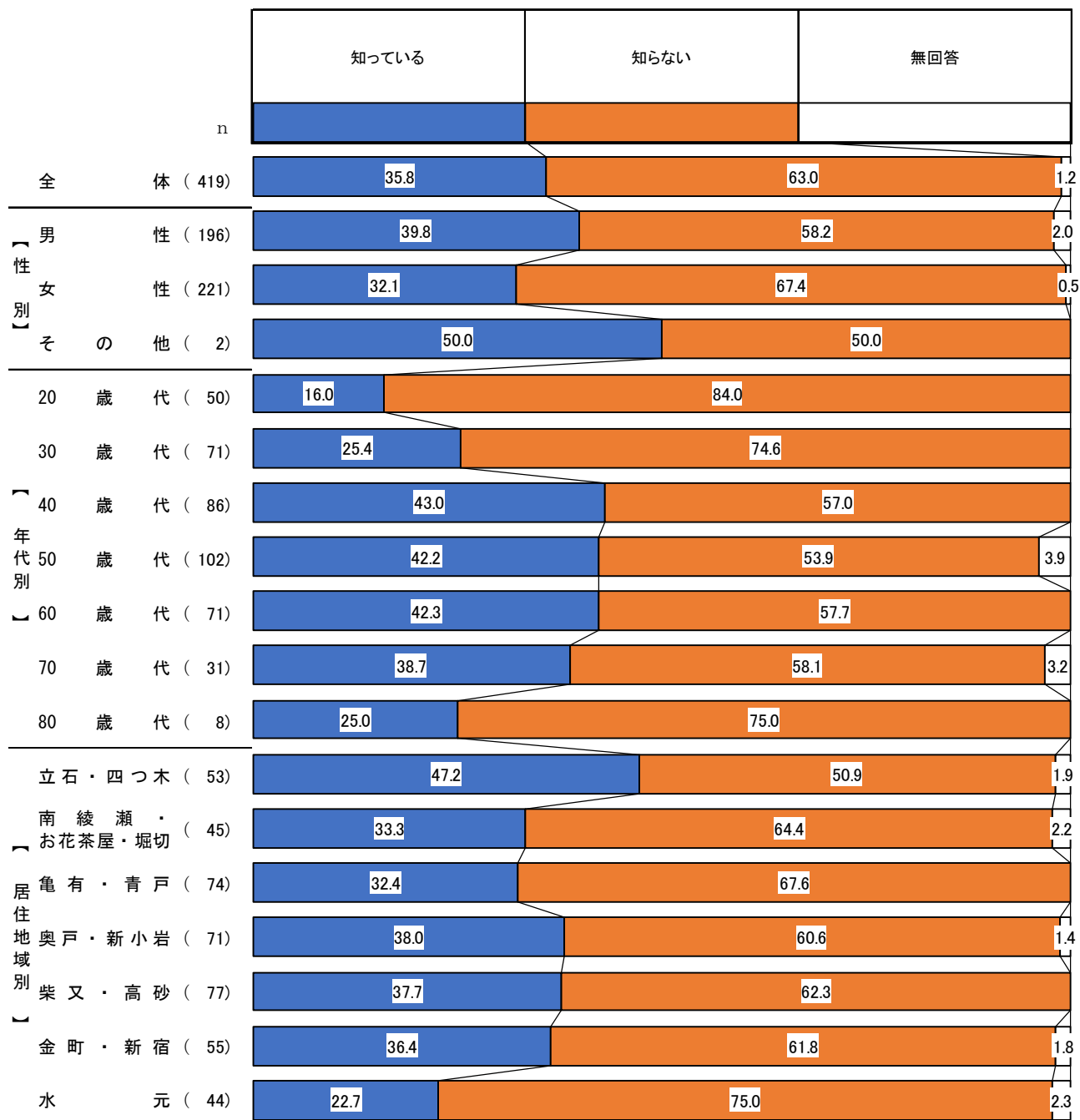
年代別でみると、「知っている」が40歳代から60歳代で4割以上と高くなっている。一方、「知らない」は、20歳代が84.0%と最も高く、次いで80歳代が75.0%となっている。

図表-15 自治町会が設置している街頭防犯カメラは知っているか(全体)



図表-16 自治町会が設置している街頭防犯カメラは知っているか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



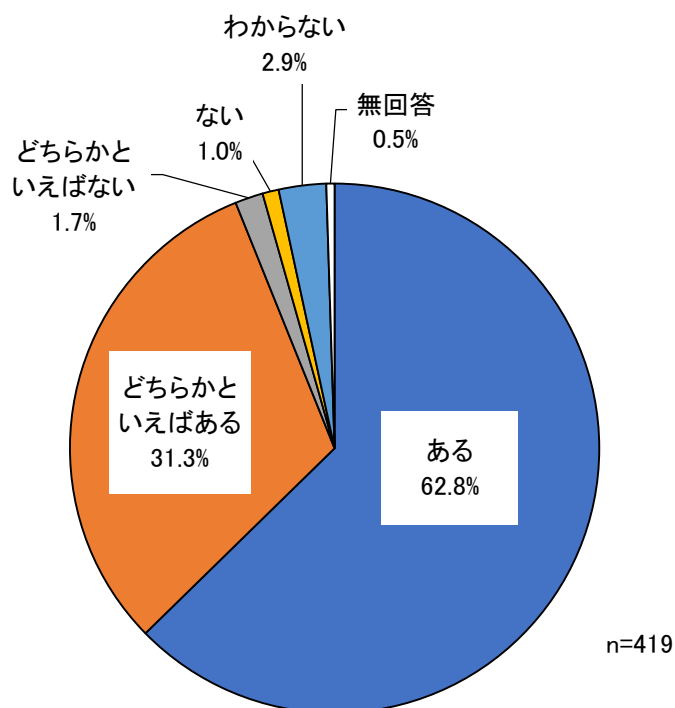
(9) 街頭防犯カメラは効果があると思うか

問9 街頭防犯カメラは効果があると思いますか。(1つ選択)

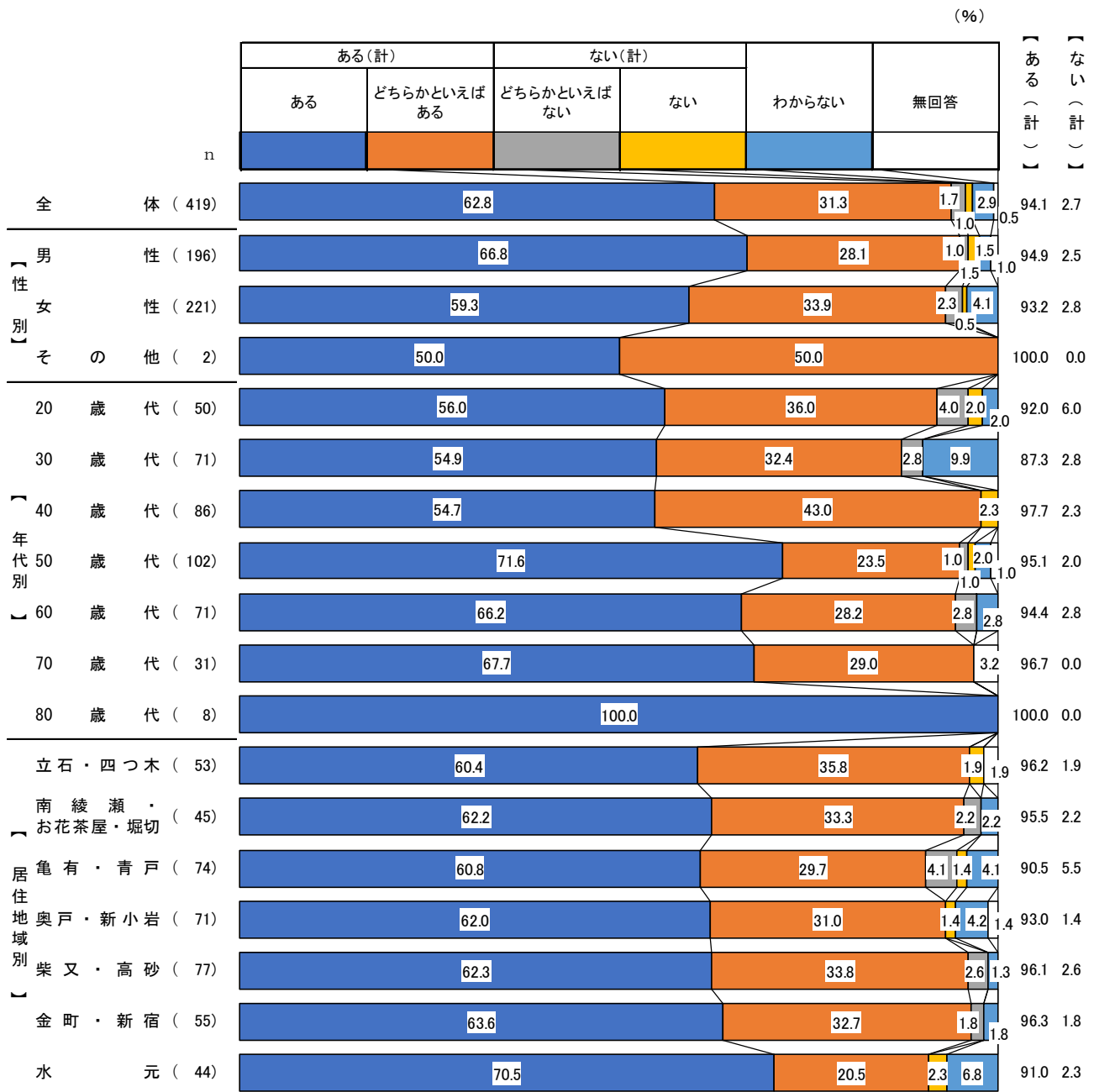
街頭防犯カメラは効果があると思うかについては、「ある」と「どちらかといえばある」を合わせた【ある(計)】が、94.1%となっている。一方、「どちらかといえばない」と「ない」を合わせた【ない(計)】が、2.7%となっている。

年代別でみると、【ある(計)】は、全ての年代で8割以上となっている。

図表-17 街頭防犯カメラは効果があると思うか(全体)



図表-18 街頭防犯カメラは効果があると思うか
(全体・性別・年代別・居住地域別)



【自宅の防犯対策について】

(10) 自宅の中で、防犯上不安に感じている場所はあるか

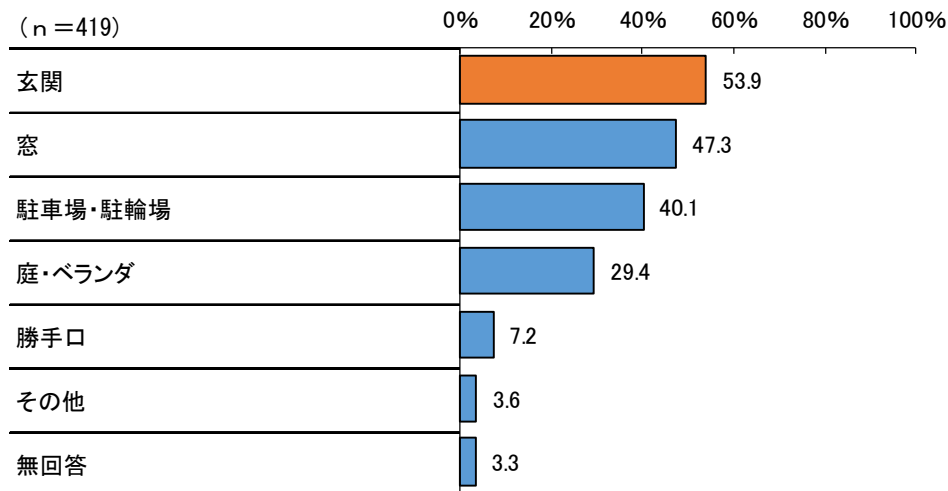
問 10 自宅の中で、防犯上不安に感じている場所がありますか。(あてはまるものを全て選択)

自宅の中で、防犯上不安に感じている場所はあるかについては、「玄関」が 53.9%で最も高く、次いで「窓」が 47.3%、「駐車場・駐輪場」が 40.1%となっている。

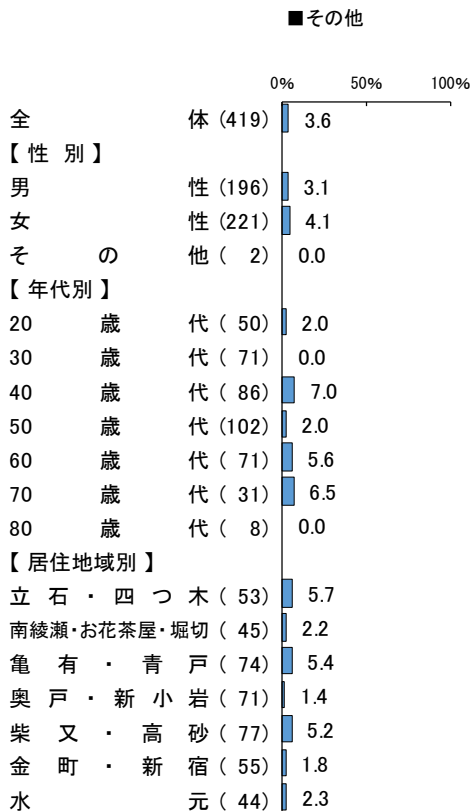
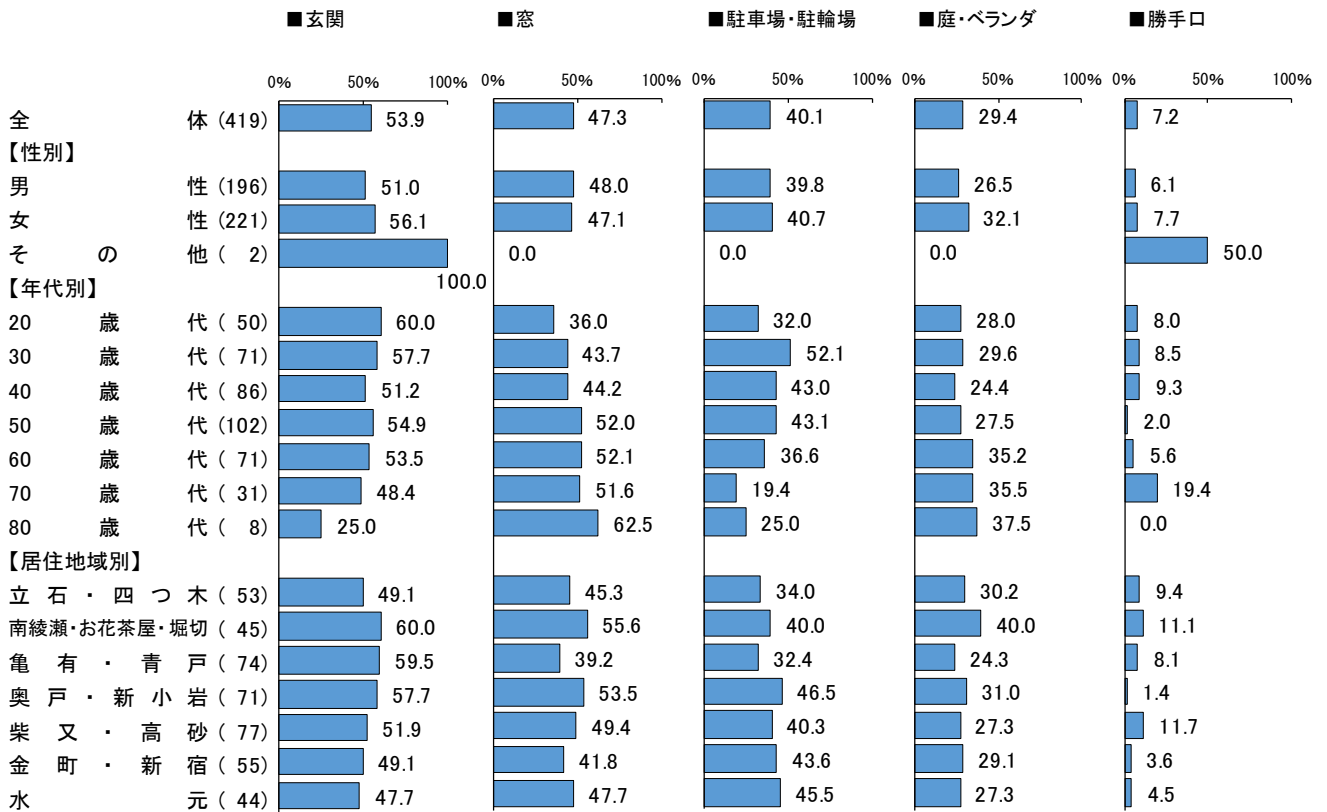
年代別でみると、「玄関」は、80歳代を除く全ての年代で4割以上となっている。また、「窓」は、80歳代が 62.5%と最も高くなっており、60歳代よりも年代が若くなるにつれて低くなる傾向にある。

「その他」の内容としては、「マンションの入口」、「共用通路やエレベーター」、「家の裏や隣家との間」、「特にない」などがある。

図表-19 自宅の中で、防犯上不安に感じている場所はあるか（全体）



図表-20 自宅の中で、防犯上不安に感じている場所はあるか
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(11) どのような防犯対策を取ることが必要か

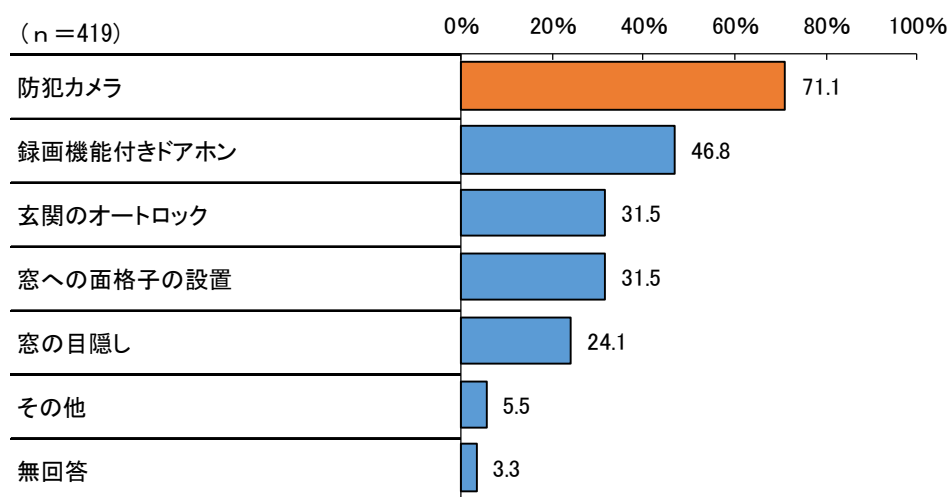
問 11 どのような防犯対策を取ることが必要だと考えていますか。(あてはまるものを全て選択)

どのような防犯対策を取ることが必要かについては、「防犯カメラ」が 71.1%で最も高く、次いで「録画機能付きドアホン」が 46.8%、「玄関のオートロック」と「窓への面格子の設置」がいずれも 31.5%となっている。

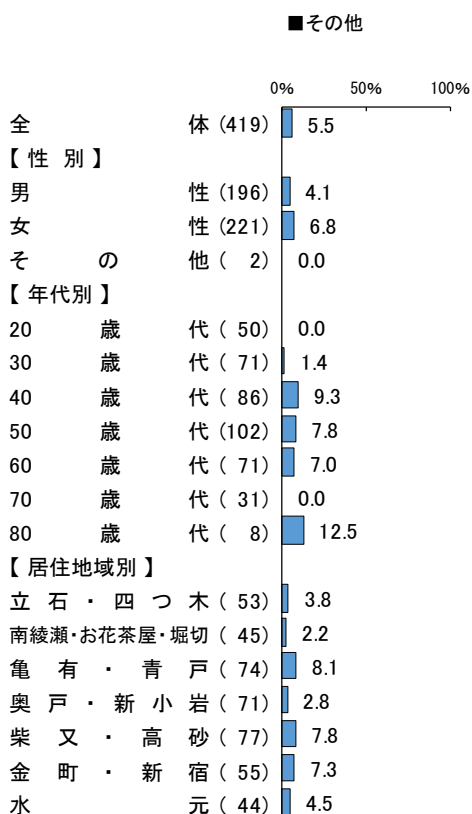
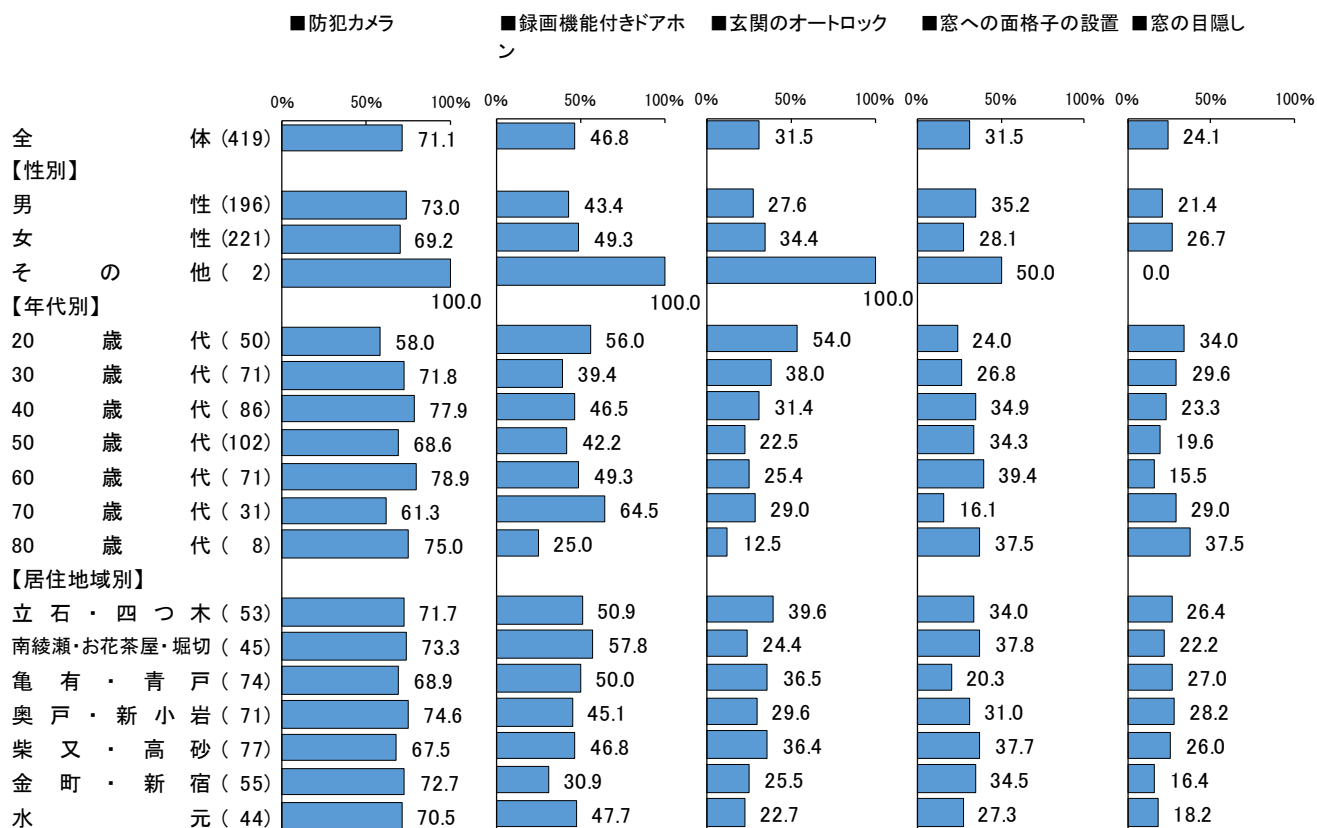
年代別でみると、「防犯カメラ」は、20 歳代を除く全ての年代で 6 割以上となっている。また、「録画機能付きドアホン」は、70 歳代が 64.5%と最も高くなっており、次いで 20 歳代が 56.0%となっている。

「その他」の内容としては、「施錠をしっかり行う」、「センサーライトの設置」、「ホームセキュリティに加入する」などがある。

図表-21 どのような防犯対策を取ることが必要か（全体）



図表-22 どのような防犯対策を取ることが必要か
(全体・性別・年代別・居住地域別)



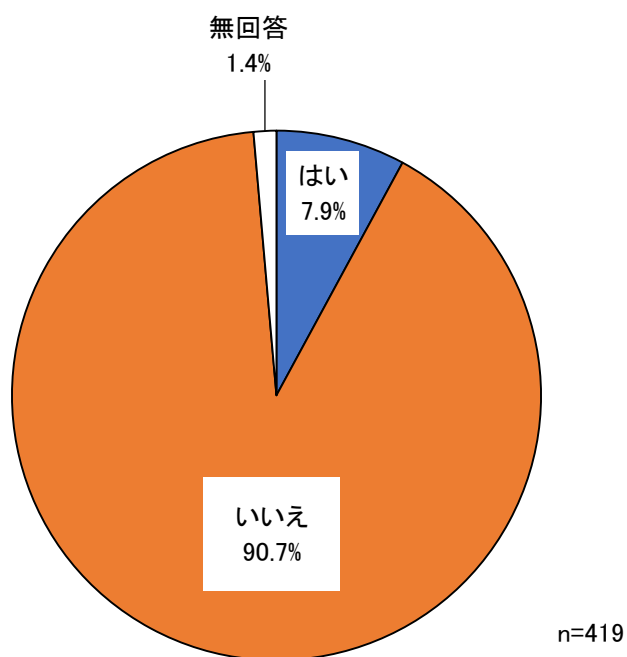
(12) 葛飾区住まいの防犯対策助成を知っているか

問 12 葛飾区住まいの防犯対策助成を知っていますか。(1つ選択)

葛飾区住まいの防犯対策助成を知っているかについては、「はい」が7.9%、「いいえ」が90.7%となっている。

年代別でみると、「はい」は80歳代で25.0%と最も高く、次いで70歳代が16.1%となっている。全体的に年代が若くなるにつれて、助成制度を知る人の割合が低くなる傾向がある。

図表-23 葛飾区住まいの防犯対策助成を知っているか(全体)



令和6年4月作成

令和6年度 葛飾区住まいの防犯対策助成

対象の**防犯設備**を購入・設置した方に、

最大**4万円**を助成します！



助成対象

☑ **住宅**に防犯設備を設置した、当該住宅に居住する**区民**

助成率・助成上限額

対象経費の**2分の1**を助成(千円未満切捨て)

助成上限額 **4万円**(複数品目の申請可能)



対象品目

- ◆防犯カメラ ◆録画機能付きドアホン ◆防犯性の高い錠
 - ◆補助錠 ◆センサーライト ◆センサーアラーム
 - ◆面格子 ◆防犯フィルム ◆防犯ガラス
 - ◆防犯砂利
- ※購入前に要件・定義を必ず確認してください。

申請期間

令和6年**5月7日**(火) ~ 令和7年**2月28日**(金)

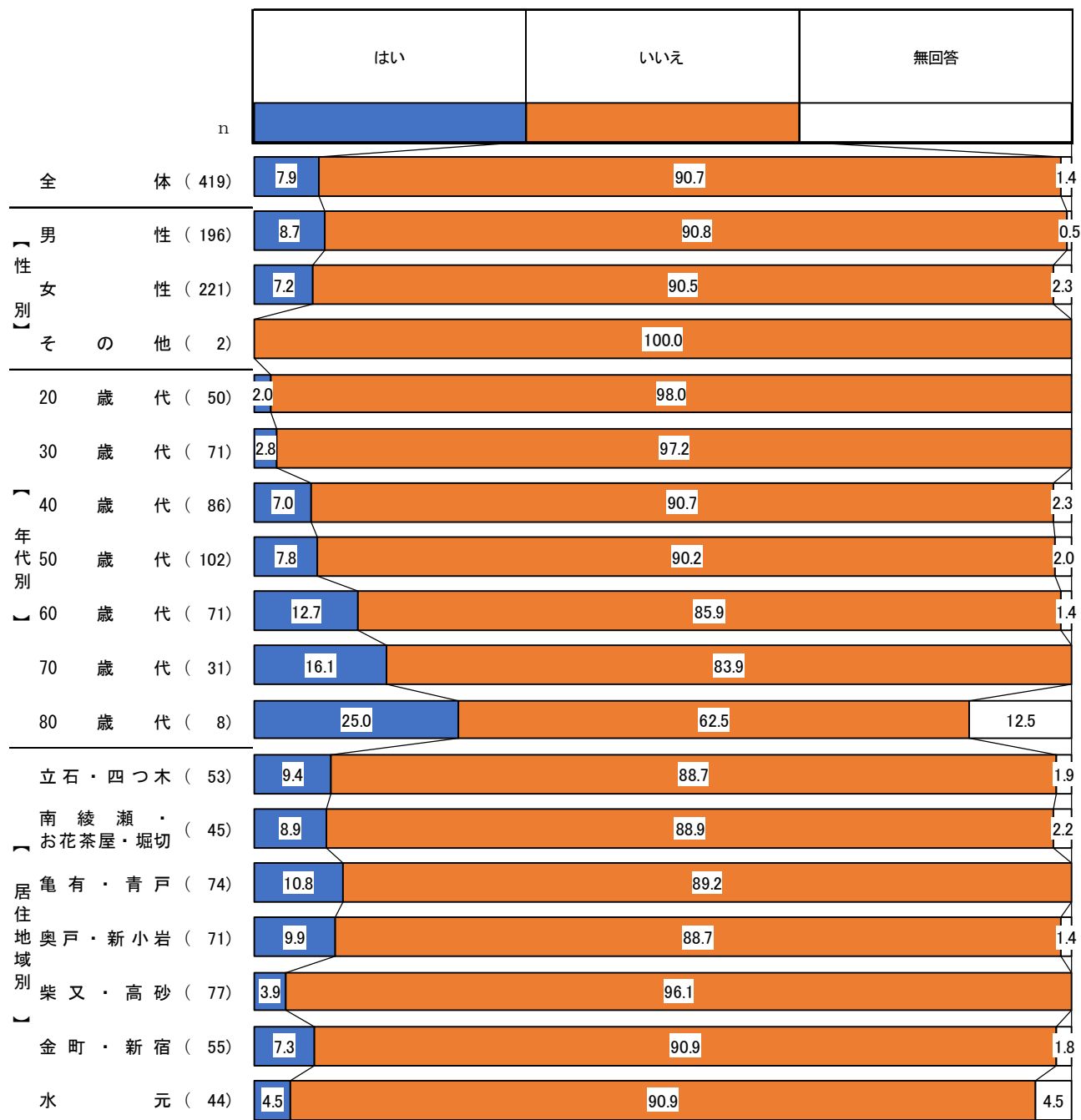
※令和6年**4月1日**(月)以降に購入された商品から助成対象。

※詳しくは区のHPをご確認ください。(<https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1004028/1000063/1030348/1035249.html>)

トップページ > 暮らし・手続き > 安心・安全 > 防災・国民保護 > 安心・安全情報 > 住まいの防犯対策助成

図表-24 葛飾区住まいの防犯対策助成を知っているか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



【特殊詐欺】

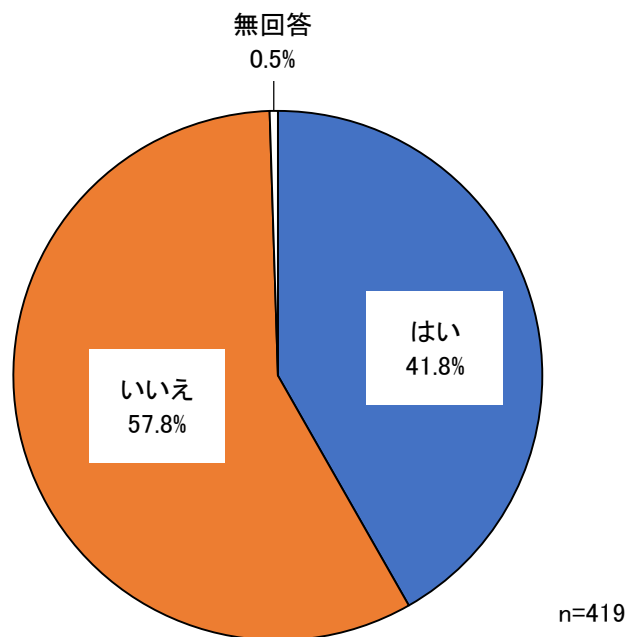
(13) 詐欺を疑うような電話がかかってきたことがあるか

問 13 これまでに詐欺を疑うような電話がかかってきたことがありますか。(1つ選択)

詐欺を疑うような電話がかかってきたことがあるかについては、「はい」が41.8%、「いいえ」が57.8%となっている。

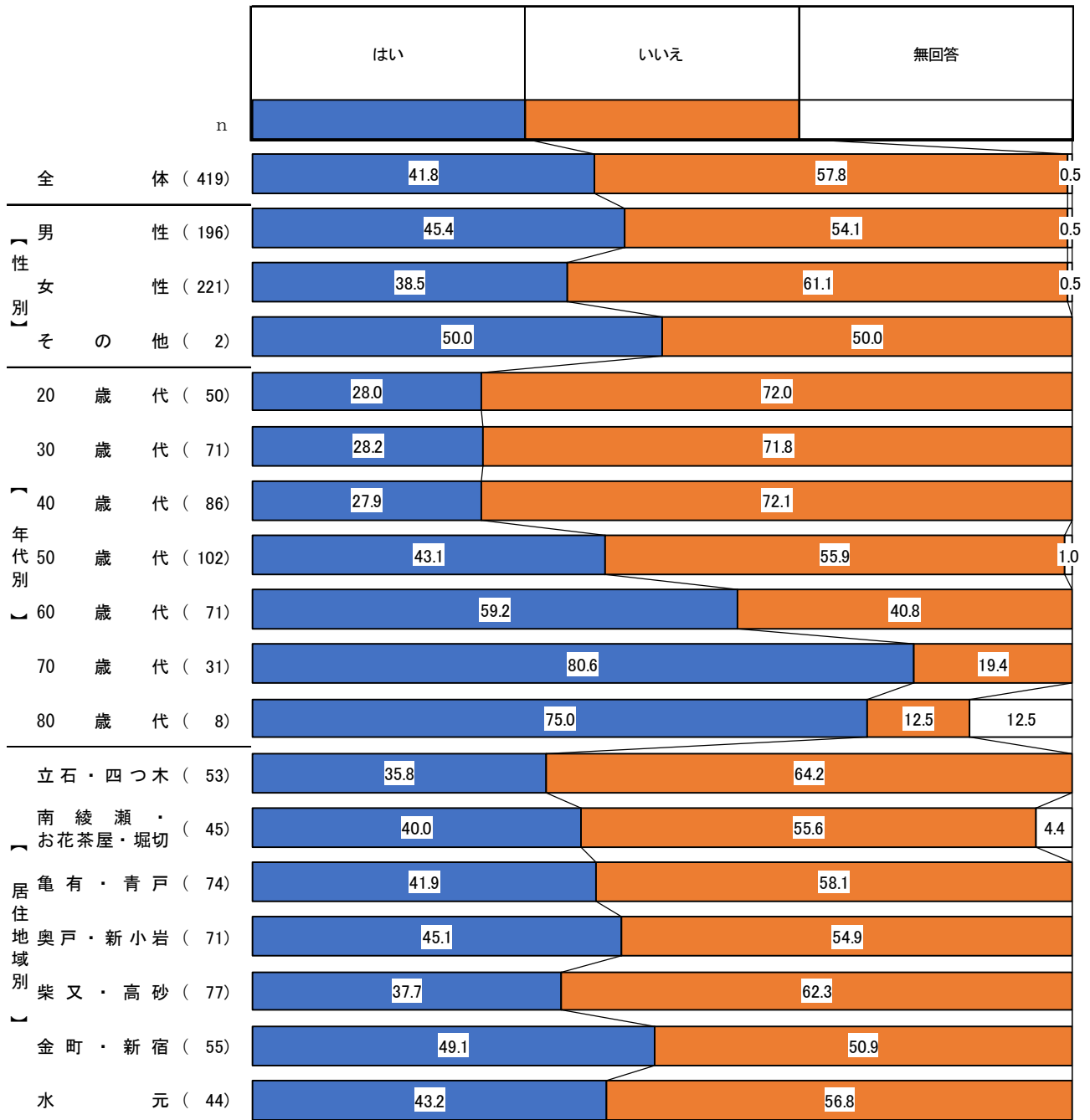
年代別でみると、「はい」は、70歳代以上で7割以上となっている。一方、「いいえ」は、40歳代以下で7割以上となっている。

図表-25 詐欺を疑うような電話がかかってきたことがあるか（全体）



図表-26 詐欺を疑うような電話がかかってきたことがあるか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



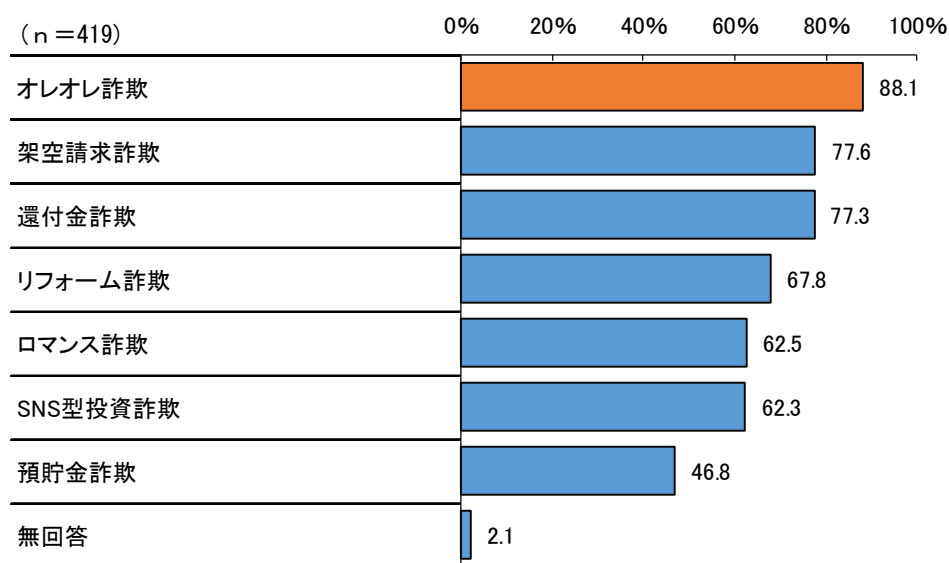
(14) 詐欺の手口の中で、知っているものについて

問 14 以下の詐欺の手口の中で、知っているものはありますか。(あてはまるものを全て選択)

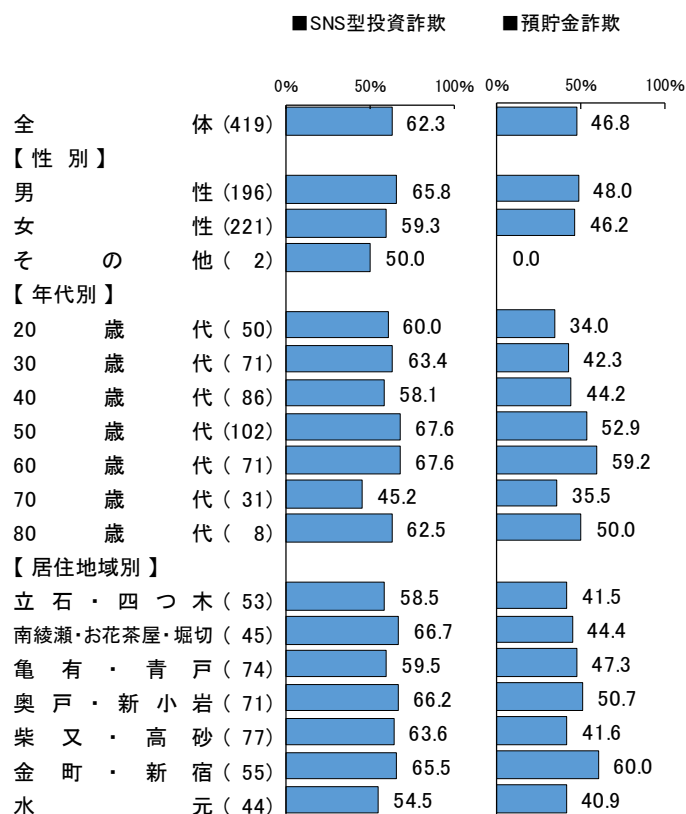
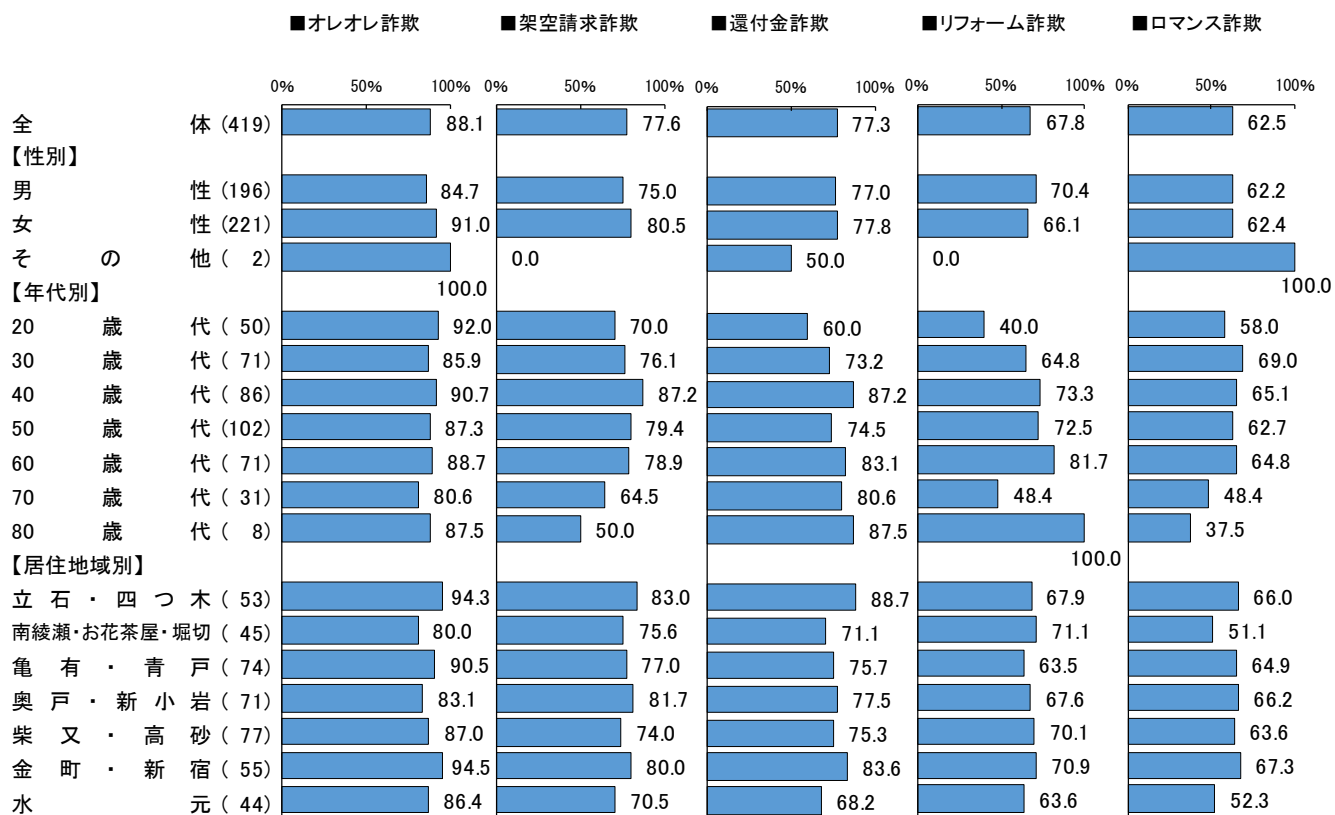
詐欺の手口の中で、知っているものについては、「オレオレ詐欺」が 88.1%で最も高く、次いで「架空請求詐欺」が 77.6%、「還付金詐欺」が 77.3%となっている。

年代別でみると、「オレオレ詐欺」は、全ての年代で8割以上となっている。また、「還付金詐欺」は、20歳代を除く全ての年代で7割以上となっている。

図表-27 詐欺の手口の中で、知っているもの（全体）



図表-28 詐欺の手口の中で、知っているもの
(全体・性別・年代別・居住地域別)

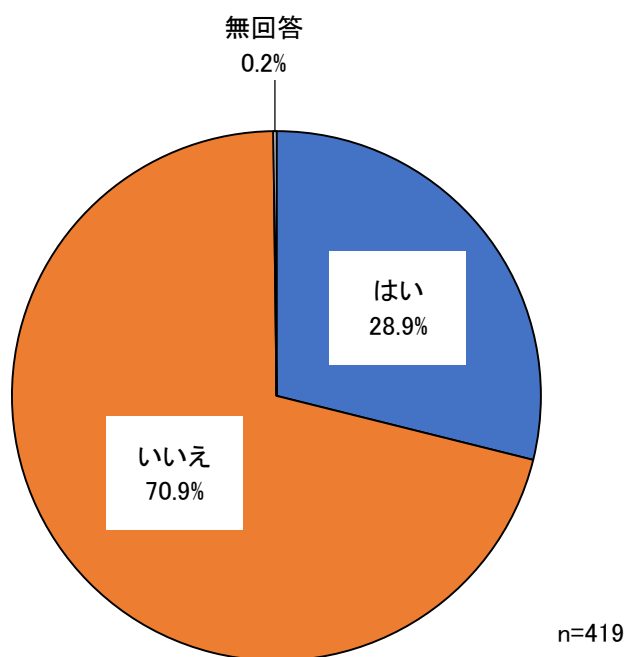


(15) 「自動通話録音機」の認知度について

問 15 特殊詐欺対策として、区と警察が連携し、「自動通話録音機」を配布していることを知っていますか。(1つ選択)

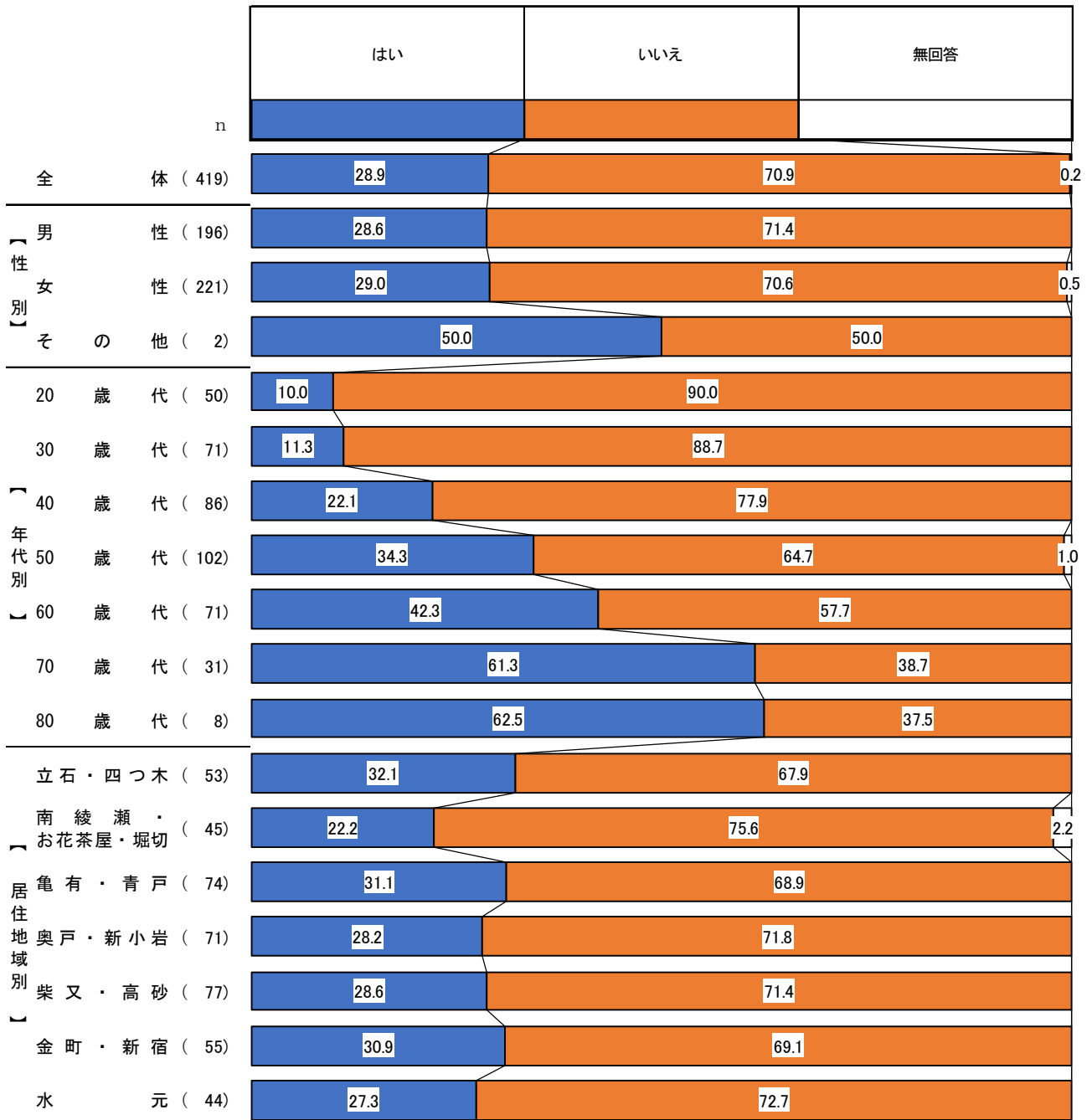
「自動通話録音機」の認知度については、「はい」が28.9%、「いいえ」が70.9%となっている。年代別でみると、「はい」は、70歳代以上で6割以上となっており、年代が上がるごとに高くなる傾向がある。

図表-29 「自動通話録音機」の認知度（全体）



図表-30 「自動通話録音機」の認知度
 (全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



【自転車盗難】

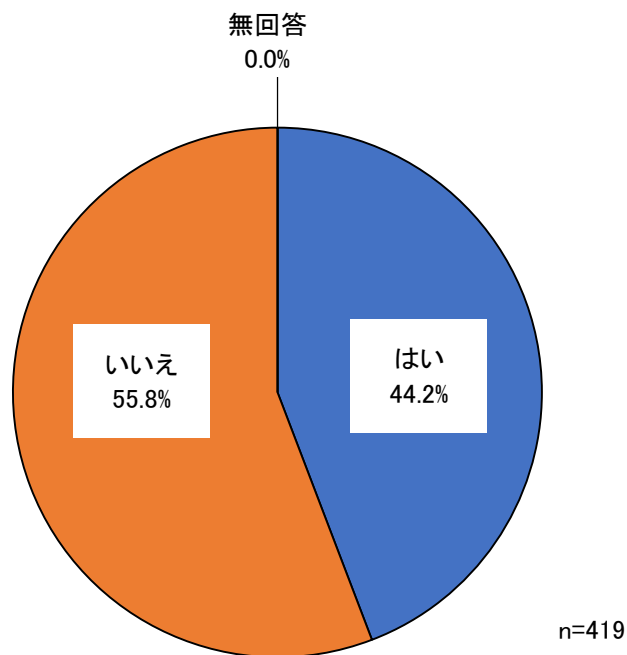
(16) 自転車の鍵かけが区の条例で義務化されていることを知っているか

問 16 自転車の鍵かけが区の条例で義務化されていることを知っていますか。(1つ選択)

自転車の鍵かけが区の条例で義務化されていることを知っているかについては、「はい」が44.2%、「いいえ」が55.8%となっている。

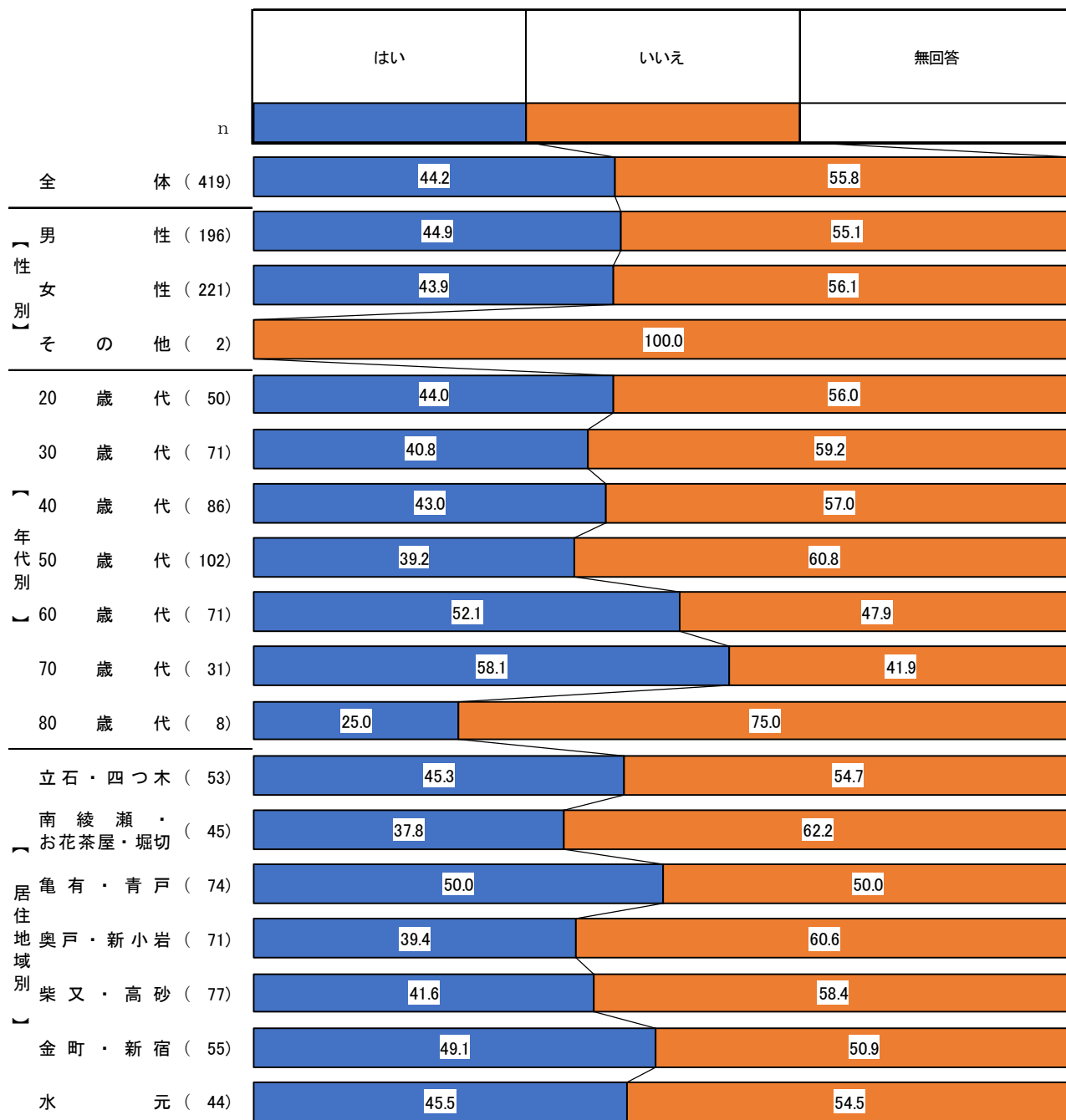
年代別でみると、「はい」は、70歳代で58.1%と最も高くなっている。一方、「いいえ」は、60歳代と70歳代を除く全ての年代で5割以上となっている。

図表-31 自転車の鍵かけが区の条例で義務化されていることを知っているか（全体）



図表-32 自転車の鍵かけが区の条例で義務化されていることを知っているか
 (全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



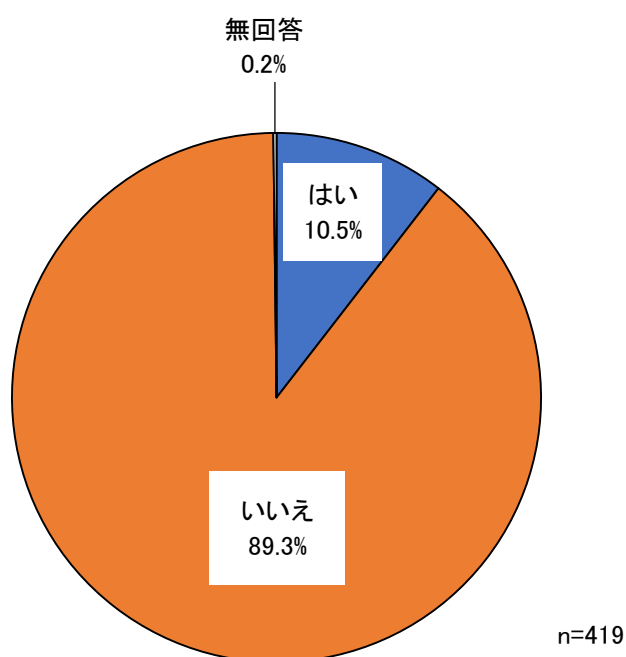
(17) 自転車盗難の約5割は自宅で起こっていることを知っているか

問 17 区内で起こっている自転車盗難の約5割は自宅で起こっていますが、そのことを知っていますか。(1つ選択)

自転車盗難の約5割が自宅で起こっていることを知っているかについては、「はい」が10.5%、「いいえ」が89.3%となっている。

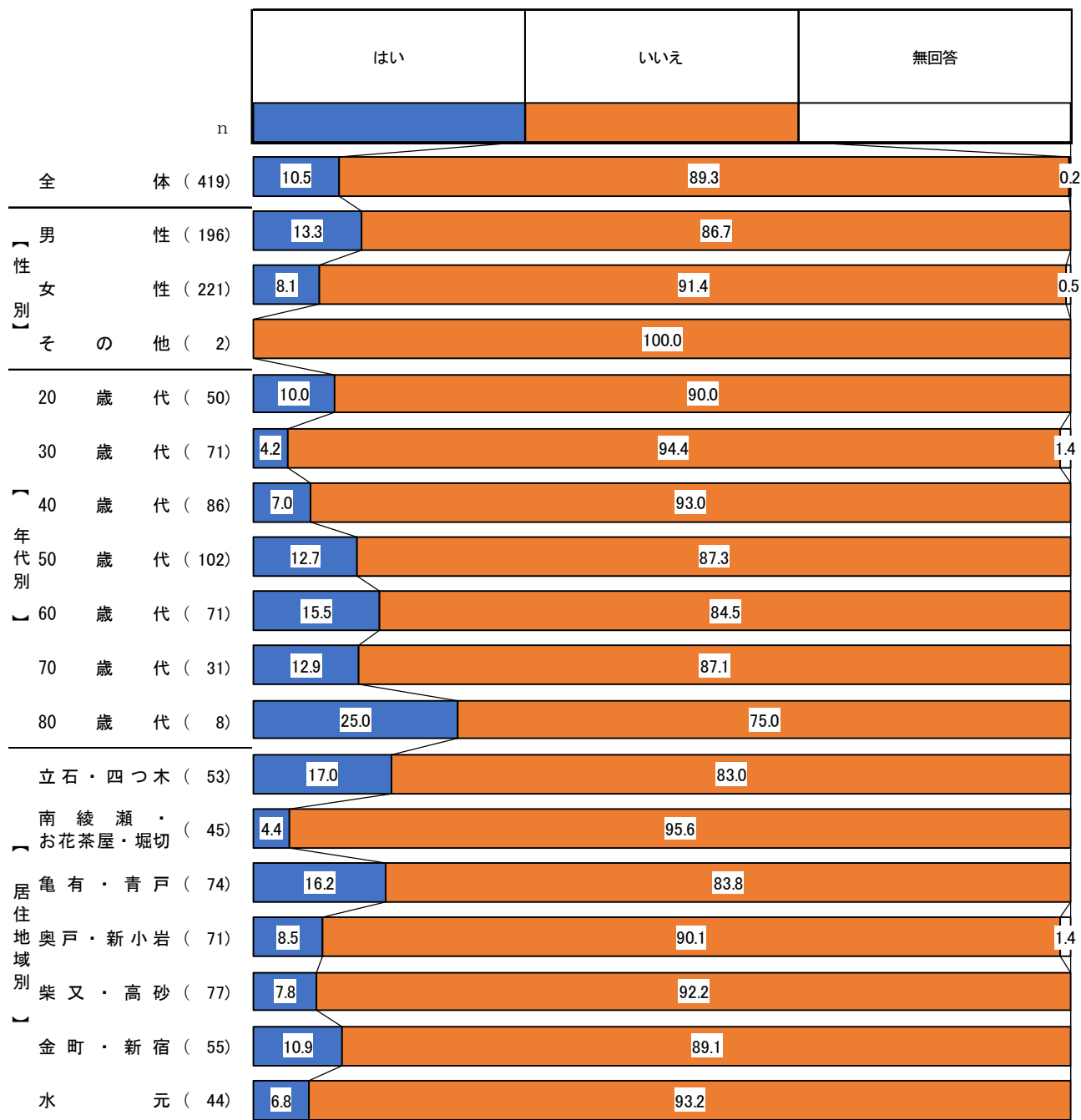
年代別でみると、「はい」は、全ての年代で3割未満となっており、80歳代が25.0%と最も高くなっている。一方、「いいえ」は、全ての年代で7割以上となっており、30歳代が94.4%と最も高くなっている。

図表-33 自転車盗難の約5割は自宅で起こっていることを知っているか(全体)



図表-34 自転車盗難の約5割は自宅できていることを知っているか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



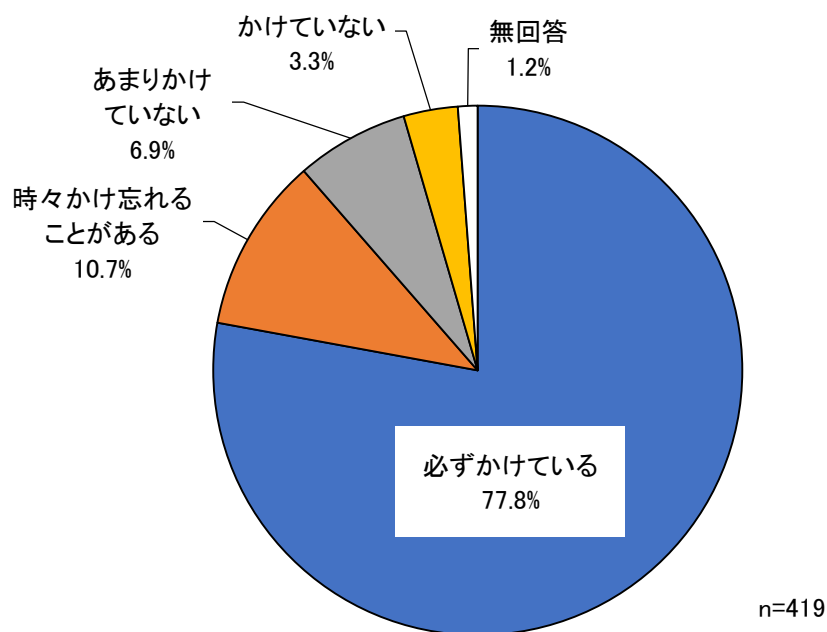
(18) 自宅や買い物時など少しの時間でも必ず鍵をかけているか

問 18 自宅や買い物時など少しの時間でも必ず鍵をかけていますか。(1つ選択)

自宅や買い物時など少しの時間でも必ず鍵をかけているかについては、「必ずかけている」が77.8%と最も高く、次いで「時々かけ忘れることがある」が10.7%、「あまりかけていない」が6.9%と続いている。

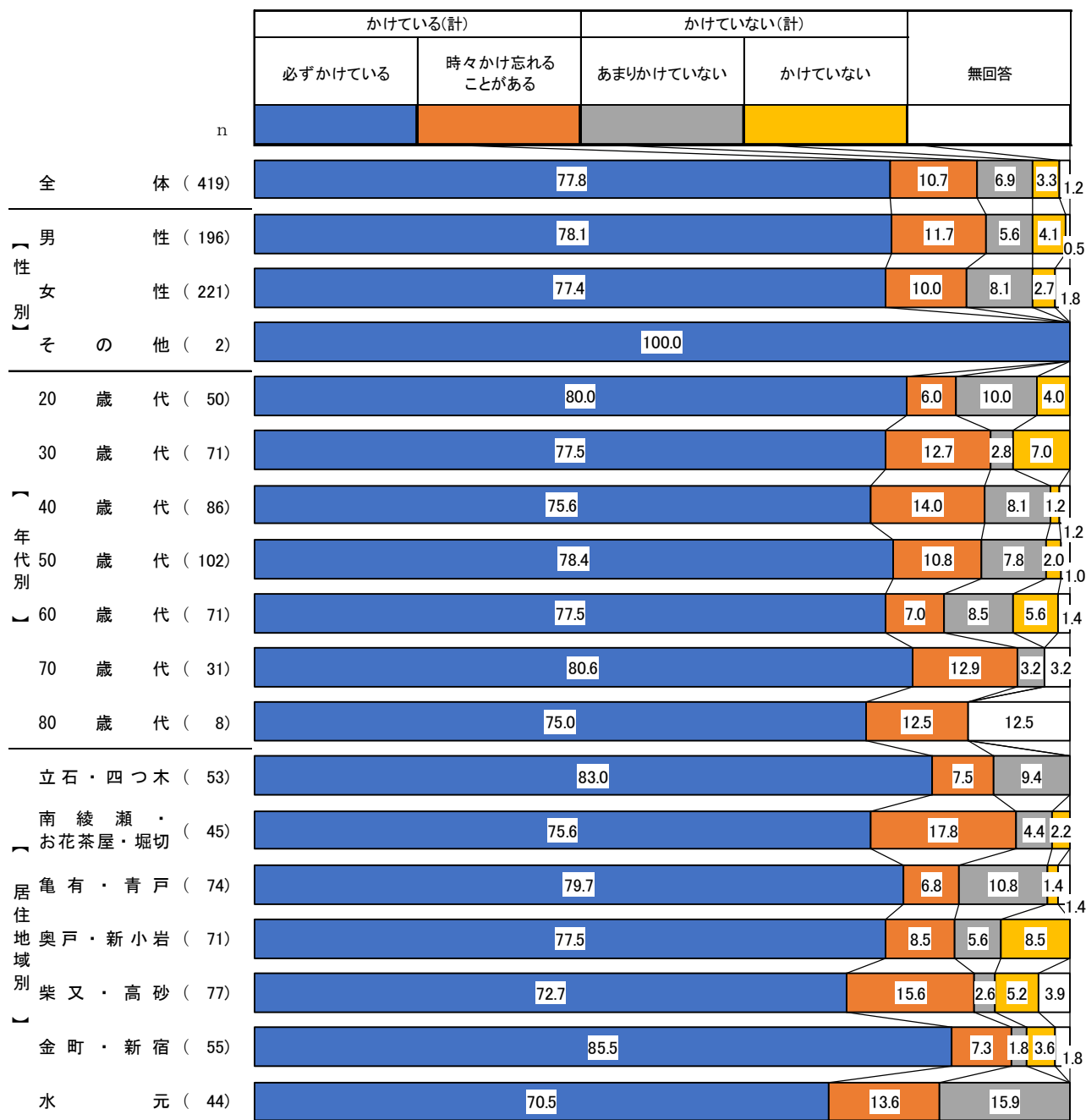
年代別で大きな差は見られない。

図表-35 自宅や買い物時など少しの時間でも必ず鍵をかけているか (全体)



図表-36 自宅や買い物時など少しの時間でも必ず鍵をかけているか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



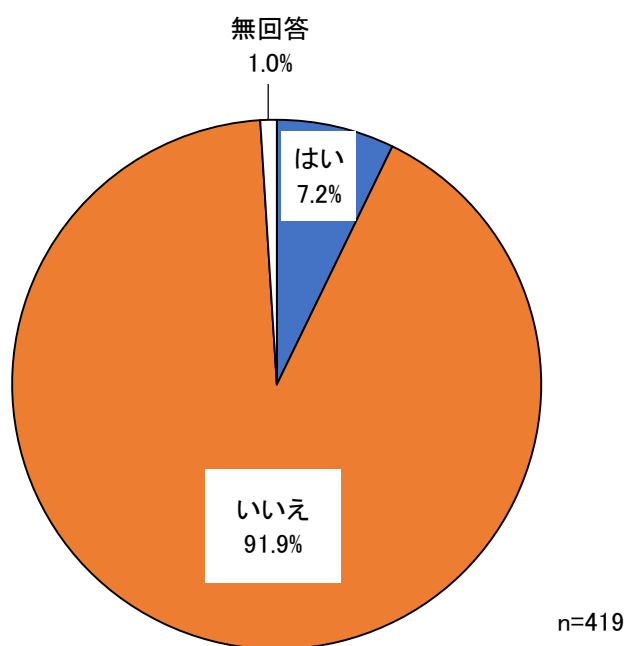
(19) 自転車に2つ以上鍵をかけているか

問 19 自転車に2つ以上鍵をかけていますか。(1つ選択)

自転車に2つ以上鍵をかけているかについては、「はい」が7.2%、「いいえ」が91.9%となっている。

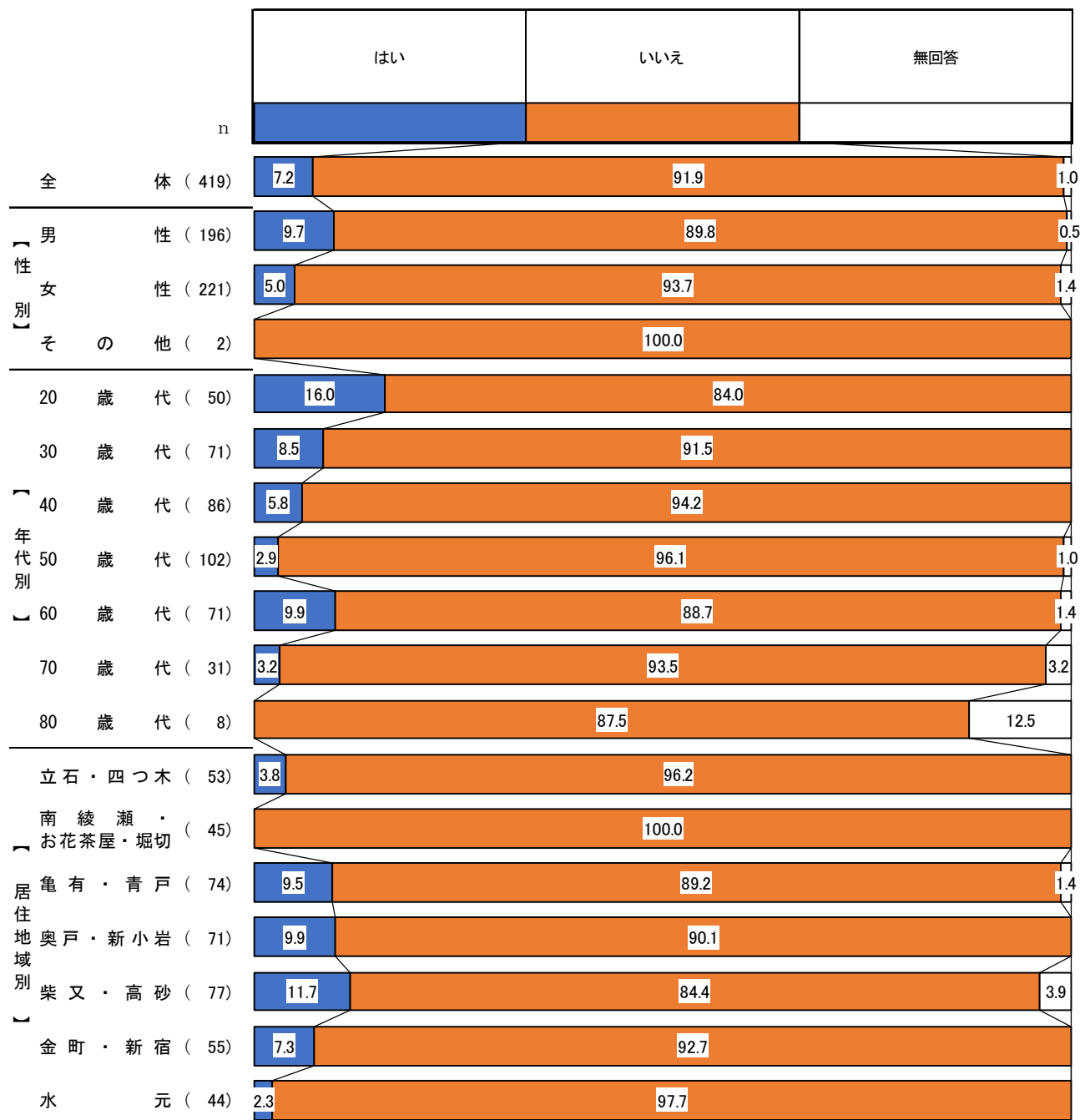
年代別でみると、「はい」は、20歳代が16.0%と最も高く、それ以外の年代は1割未満となっている。一方、「いいえ」は、全ての年代で8割以上となっている。

図表-37 自転車に2つ以上鍵をかけているか（全体）



図表-38 自転車に2つ以上鍵をかけているか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



【不審者の声かけ】

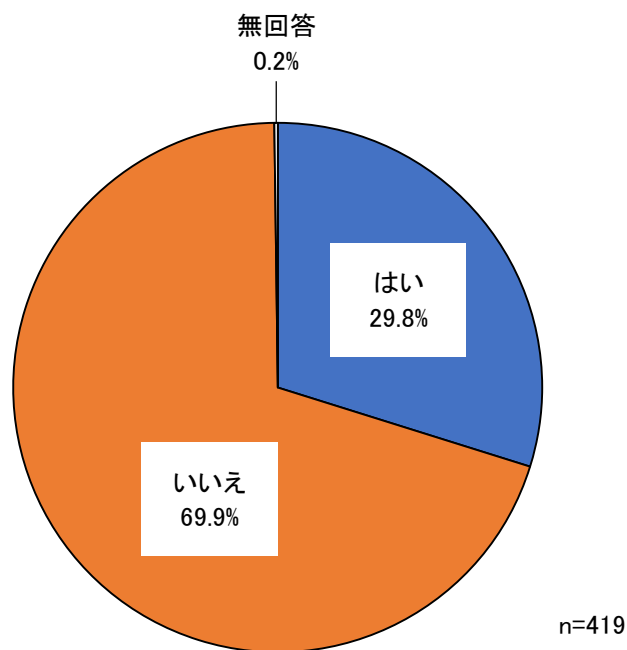
(20) 身の回りで不審者から声をかけられた人を知っているか

問 20 身の回りで不審者から声をかけられた人を知っていますか。(1つ選択)

身の回りで不審者から声をかけられた人を知っているかについては、「はい」が29.8%、「いいえ」が69.9%となっている。

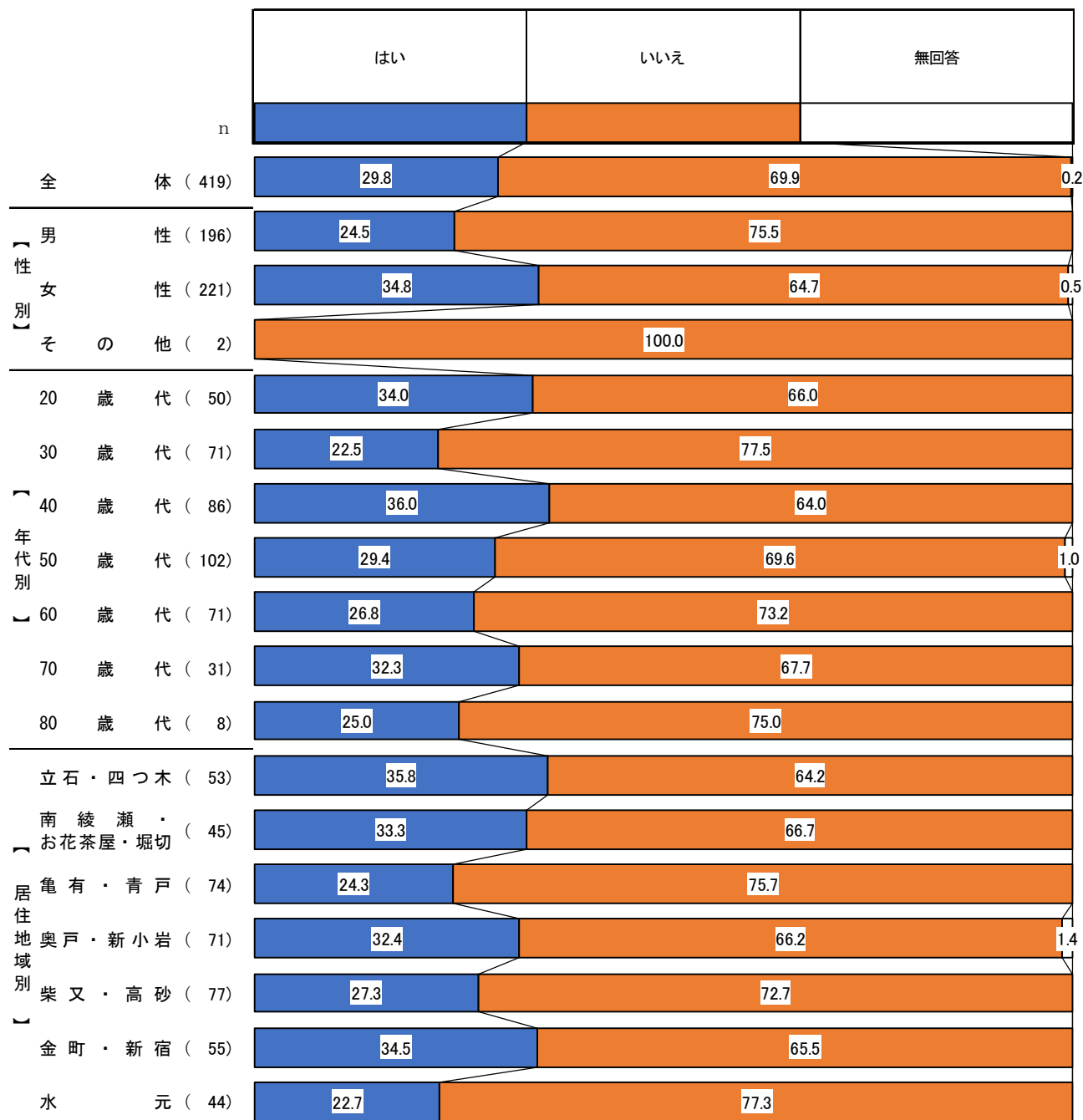
年代別でみると、「はい」は、40歳代が36.0%と最も高く、次いで20歳代が34.0%と続いている。一方、「いいえ」は、30歳代が77.5%で最も高くなっている。

図表-39 身の回りで不審者から声をかけられた人を知っているか (全体)



図表-40 身の回りで不審者から声をかけられた人を知っているか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



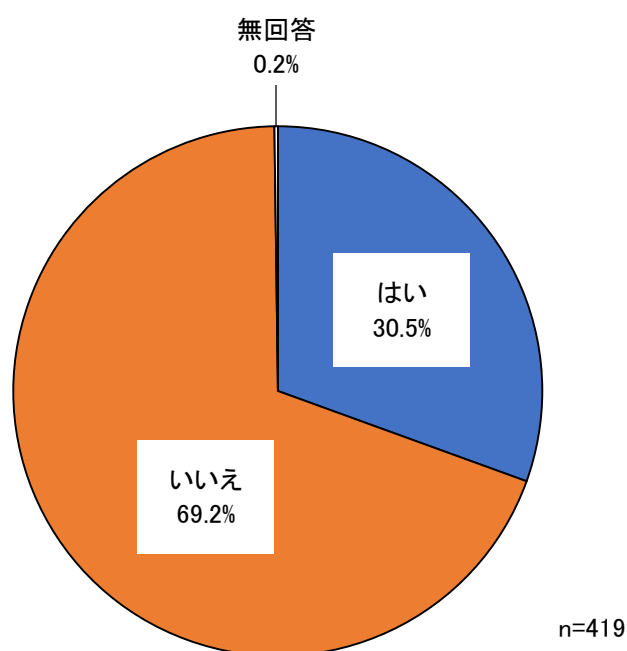
(21) 不審者の声かけなど防犯に関する情報を発信していることを知っているか

問 21 区が「葛飾区安全・安心情報メール」で不審者の声かけなど防犯に関する情報を発信していることを知っていますか。(1つ選択)

「葛飾区安全・安心情報メール」で不審者の声かけなど防犯に関する情報を発信していることを知っているかについては、「はい」が30.5%、「いいえ」が69.2%となっている。

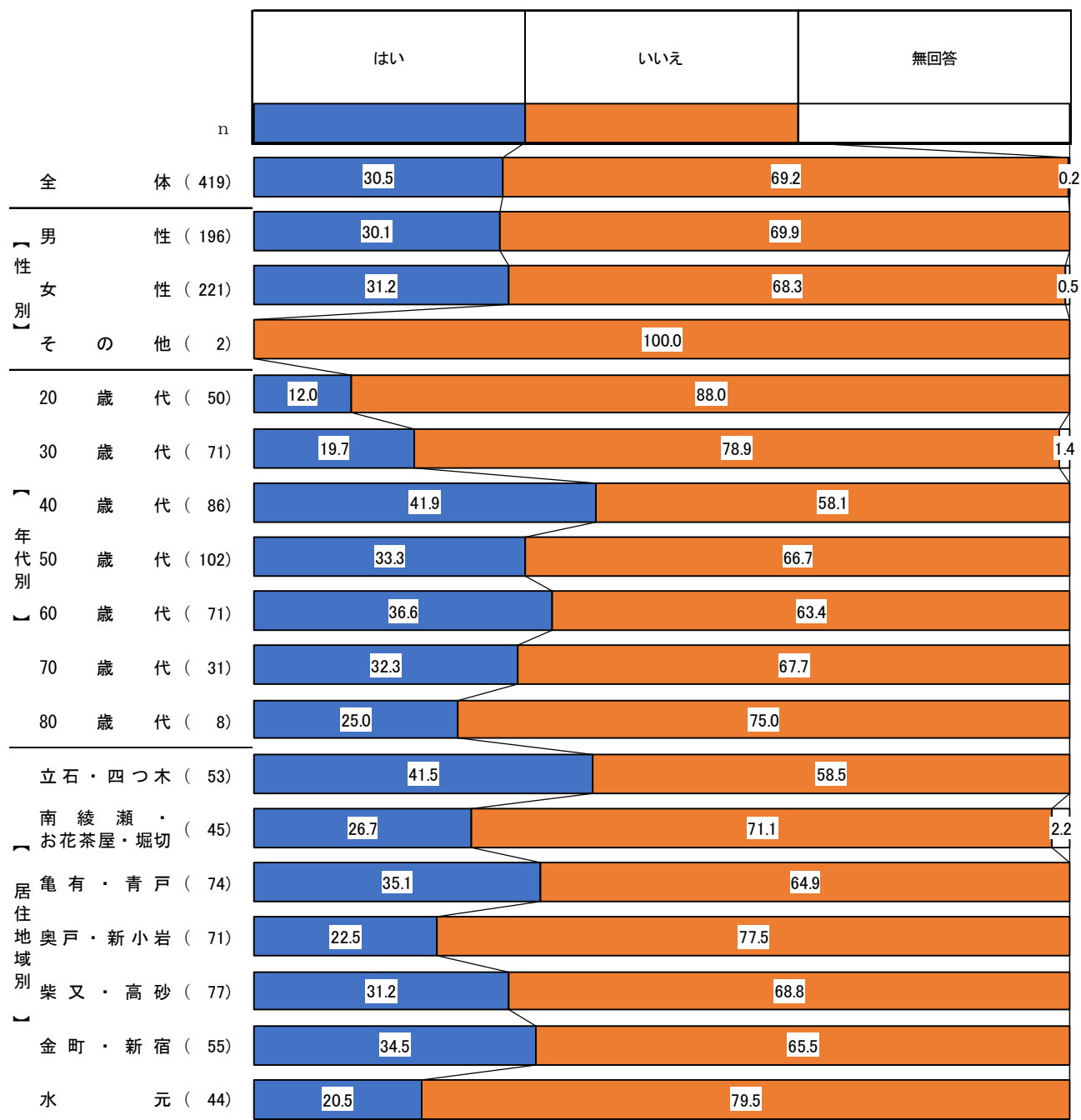
年代別でみると、「はい」は、40歳代が41.9%と最も高くなっている。一方、「いいえ」は、40歳代を除く全ての年代で6割以上となっている。

図表-41 「葛飾区安全・安心情報メール」で不審者の声かけなど防犯に関する情報を発信していることを知っているか(全体)



図表-42 「葛飾区安全・安心情報メール」で不審者の声かけなど防犯に関する情報を発信していることを知っているか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



《調査全般について》

令和6年度第3回葛飾区区民モニター調査について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。(自由記述)

【防犯に関する主なご意見】

- ・葛飾区の防犯意識の高さを改めて認識した。東京都で住みやすい区ナンバーワンだと思う。今後とも、葛飾区のために何か力になれたらうれしい。
- ・葛飾区の治安は、23区内では比較的良い水準が維持されていると思う。今後、開発が進み人口増加や人の往来が増えるにつれて、治安の悪化が懸念される場所があるので、継続的で且つ、地域スケールに応じた柔軟性ある対策が必要になって来ると思う。
- ・防犯について知らないことがあった。もっと積極的にインターネットなどで情報を集めないといけないと感じた。
- ・各地区に職員の方が出向いて話せる場を作ってもらえると、より防犯への意識が高まると思う。
- ・防犯対策についてのアンケートは今までで一番身近に感じたものだった。
- ・防犯意識をしっかりと持ちたいと思った。家族やご近所さんにも周知したい。
- ・防犯対策は時間が命。警察と自治体の連携を期待する。
- ・今回のアンケートで、防犯に関する関心が増した。
- ・防犯対策が強化されている街づくりを望む。街中に防犯カメラを設置し、AIによる犯罪未然防止が有効と考える。
- ・防犯については、大変関心があるテーマだった。安心して暮らせるようにと心から願いたい。
- ・子どもがいるので、区全域での防犯対策や自宅での防犯対策に対する意識が強くなっている。今回のアンケートで初めて助成等の取組があることを知った。安心して暮らせる葛飾区になってほしいと思う。
- ・防犯は意識していても、対策を考えると中々思う様に行動出来ない。どうすれば良いのか分からない状況である。
- ・防犯について、街灯や街の明るさも大切かと思う。戸建てが並んでいても玄関の明かりをつけていない家庭もあるので、せめて街灯があればと思うところも多い。
- ・防犯カメラの設置を増やして頂きたい。
- ・防犯カメラの設置が対策としては良いと思う。
- ・メールで発生した犯罪の詳細情報を受け取る度に、場所が近ければ気を付けなければならないと思うが、メールを登録していない限り連絡は入らないと思うので、夕方の無線から流れる放送で注意喚起すると、犯罪の抑制にもつながると思った。
- ・1年ほど前、訪問型のリフォーム詐欺と思われる人にあった。被害にはあっていない。

令和6年度
第2回葛飾区区民モニターアンケート調査報告書

令和6年（2024年）10月発行

葛飾区総務部すぐやる課すぐやる係

東京都葛飾区立石5-13-1

電話 03-3695-1111（代表）